ミュージカル「ブロードウェイ殺人事件」

本ベル。
オーヴァーチュアー演奏開始。

M1「オーヴァーチュアー」

50小節目から客電アウト。曲終わり（59小節目）で緞帳アップ。

第一幕

M2「ミステリー」

暗い舞台にMCが姿を現す。手品を見せながら歌い踊る。

MC　**人生は不思議**
謎に満ちている
起こった出来事
すべての真実は
みんなミステリー
みんなミステリー

一夜の夢か
消える幻か
儚いロマンス
悲しい運命も
みんなミステリー
みんなミステリー
みんなミステリー

M2終了。曲繋ぎでM3へ。

M3「ブロードウェイ・バウンド」

ブロードウェイの劇場の舞台稽古風景。歌い踊るキャストたち。

キャストたち　**ここで掴もう　私の夢を**
ア――――――――――

ここで変えよう　惨めな明日
ア――――――
ここで生きよう　きらめく街で
ア――――――
ここで試そう　一度のチャンスを
ア――――――

主演スターのマリオン・デイ登場。中央で歌い踊る。

マリオン　行こう
キャストたち　ブロードウェイ・バウンド（broadway bound）
マリオン　輝く
キャストたち　ブロードウェイ・バウンド
マリオン　歌え
キャストたち　ブロードウェイ・バウンド
マリオン　踊れ
キャストたち　ブロードウェイ・バウンド

マリオン　たとえ何が起きようと
ショーの灯（ひ）は消えない
この国の希望を託し
未来へと続く

つらいことが起きようと
ショーの歌声は
悲しみを吹き飛ばして
世界へと響く

おいでよ　この街まで　（オブリガート）ア――――――
涙を拭いて　ア――――――
何かと出会うために　ア――――――
出会うために　ア――――――

キャストたち　ここでつかもうブロードウェイ
私の夢を
一度だけのチャンスを
ブロードウェイ・バウンド

間奏。踊り。

マリオン　**これは友達のスージーに**
起こった本当の出来事
ジュリー　**デパートガールのスージー**
リンダ　**褒められるのは長い足**

マリオン　**ある日スージーは思った**
もっと足を見せたいと
テレサ　**ダンスの教室に通って**
パール　**ひたすら毎日レッスン**

マリオン　オーディションに合格して、
ついにスージーは舞台に！
そして劇場に飾られた
長い足の看板！

（オブリガート）ア――――
ア――――

長い足の劇場看板が降りる。キャストたち、拍手と歓声。

アニー　**スージーの長い足は**
キャストたち　**一番有名な足**
マリオン　スージーは看板を見上げて、「やった！」と微笑みました。

全員で華やかに総踊り。

マリオン　**おいでよ　この街まで**
涙を拭いて
何かと出会うために
何かをさがすために

（オブリガート）ア――――
ア――――
ア――――
ア――――

キャストたち　**ここでつかもうブロードウェイ**
私の夢を
一度だけのチャンスを
ブロードウェイ・バウンド

M3終了。怒り出すマリオン。

マリオン　なによ。言ってたキーと違うじゃないの。あんなんじゃ歌えないわ。
トニー　トニー！　なんであんな違うステップを踏むの？
マリオン　すみません。ステップが変わったんですが、お伝えするのを・・・。
スタイガー！　うしろの台上にスタンバイしてた時、台がグラグラしていた。危うく落ちるとこだったわ。それにどうして！　どうしてネック

レスがないの！　マイルズ！（キレて怒鳴る）マーイルズ!!

プロデューサーのバーンズ、演出家のエディ・マイルズ、劇作家のアンソニー・ムーアと、妻で振付家のキャシー・ムーアが客席からドカドカと舞台に上がってくる。舞台袖から舞台監督のスタイガーとマリオンの楽屋係のモイラ（中年女性）も登場。

バーンズ　いやあ、よかったよマリオン！　プレビュー成功間違いなし！

マリオン　マイルズ！　衣裳につけていた真珠のネックレスがないの！

マイルズ　（スタイガーに）ネックレスはどうしたんだ？

スタイガー　それが、いくら探しても見当たらないんで。

マリオン　キャシー。なぜ振りが違うの？　どういうことか説明して！

キャシー　（ドギマギ）少し変えようと思ったのよ。こうして手を取った時・・・。

マリオン　（手を振りほどいて）けっこう！　前の振りのままで行くわ！　そこの色男さん（スタイガー）、早く台を直して。私を殺す気じゃないでしょうね？

スタイガー　まさか！　なぜ俺がそんなことを！

バーンズ　スタイガー。（マリオンに）少しクギがゆるかっただけだ。

アンソニー　（手にパイプを持っている）マリオン、キーの変更は伝えたはずだ。こっちの方が迫力が出るんだよ。君もうなづいて・・・。

マリオン　（くって）今日の稽古は終わり！　何もかもうまくいかない！

マイルズ　今日はまだやりたいところが。

マリオン　ネックレスがなきゃ、舞台には立ちません！

マイルズ　（絶望的に叫ぶ）ネックレス！

マリオン、憤然と退場する。困り果てるスタッフ。

バーンズ　（苦々しく）新しいのを用意したらどうだ？

マイルズ　あのネックレスはどこで？

スタイガー　マリオンの私物なんです。

モイラ　高いものじゃありません。ニュージャージーの店で買えます。私が買って来ましょうか？　皆さんは忙しいでしょうから。

マイルズ　頼むよ、モイラ。行ってきてくれ。

モイラはスタイガーと一緒に話しながら退場。

バーンズ　私は説得しよう。（マリオンを追って退場）

マイルズ　一時間休憩だ！　初日まで五日間しかないんだ！　足が棒になるまで踊るぞー！　解散！

キャスト、スタッフたちは、ざわめき、散って行く。女性キャストたちが残って噂話。

アニー　まったく。たいした大女優だわ！
リンダ　しーッ！　うしろで聞いてるかもよ。
アニー　わっ！（思わず振り返る）
パール　スタイガーさんなんて気の毒よ。いつも怒鳴られて。
リンダ　スタイガーに気があるの、あんた？
パール　なんで分かったの？
リンダ　やめた方がいいわ。先に手をつけた人がいるのよ。
パール　（驚く）誰!?

トニー・バートンがやって来て、ジュリーに声をかける。

トニー　ジュリー。空いてたら、ナンバーの稽古に付き合ってくれないか。君、マリオンの代役だろ？
ジュリー　ええ。いいわ、トニー。
アニー　ジュリーが主役になればいいのに。誰かさんなんかいなくなって。
リンダ　あんた、殺す気なの？
アニー　そうよ。

M4「われを忘れて」

音楽。それを聞いてトニーとジュリーは退場。女三人が残る。

リンダ　ねえ、あんたたち知ってる？　マリオンの宝石。あれ本物なのよ。
アニー　ネックレス？
リンダ　いいえ、白い羽根の衣裳についているダイヤ。大女優の個人的な持ち物ですって。あんなダイヤ、見たことないわ。
パール　憧れるゥー・・・。
リンダ　私、昔から宝石に目がないの。宝石を見ると、胸がドキドキしてくるのよ・・・特にダイヤは・・・。

われを忘れてしまう
ダイヤの輝き
女性なら分かるはず　　（コーラス）分かるわ
心を狂わせる
怪しいその光　　その光

三人　**憎い女が**
手にしている宝　　**宝よ**

リンダ　**今日はなんだか**　　**ウ――――**
胸がざわめくわ　　**ウ――――**

演出家のマイルズと劇作家のアンソニー・ムーア、妻で振付家のキャシー・ムーアが登場して愚痴を言う。その話を盗み聞きするリンダ、アニー、パール。

マイルズ　まったく！　稽古放棄はこれで七回目だ！　そのたび彼女を楽屋から出すのに苦労するんだ。俺はもう精神科へ行きたいよ！

アンソニー　私のとこにも毎日のように電話をかけてくる。あそこを直せ、ここを直せと、まるでプロデューサー気取りだ。あんな女優は見たことがない。

キャシー　今は我慢してちょうだい。とにかく、このショーを成功させるために、私たちは手を組まないと。

マイルズ　舞台の失敗は許されない。我々のためにも。絶対に。

アンソニー　そうだ。だが彼女が主役では、この先何が起こるか不安は大きい。

マイルズ　いっそのこと、降りてくれた方が。

キャシー　（諌める）エディ。・・・バーンズと相談しましょう。

スタッフ三人退場。話を聞いていたリンダたちが前へ。

リンダ　（ほくそ笑んで）あいつの寿命もこれまでかもよ。

トニーとジュリー登場して歌の稽古を始める。ピアノを弾くＭＣ。

トニー　**われを忘れてしまう**　　**（ジュリー）忘れてしまう**
瞳の輝き　　**輝き**

ジュリー　**恋したら分かるはず**　　**（トニー）分かるさ**
心を惑わせる
あなたのまなざし　　**ア――――**

トニーとジュリーの歌に、リンダたちの歌が重なる。

リンダ　**憎い女が**　　**（ジュリー）あなたが**
手にしている宝　　**（トニー）宝さ**
今日はなんだか　　**今日はなんだか**

＋アニーとパール　**胸がざわめくわ**　　**（ジュリー）胸がざわめくわ**

変わって舞台奥、マリオンの楽屋の照明がつく。マリオン、プロデューサー、演出家、劇作家、振付家が集まっている。なくなった小道具のネックレスを買いに出かけようとする楽屋係のモイラ。

モイラ　（マリオンに）それじゃ、ネックレスを買いに行って来ます。
マリオン　悪いわね、モイラ。

モイラは楽屋を出て、外でスタッフの会話を立ち聞きする。

マイルズ　マリオン。機嫌を直して、稽古をやってくれ。
バーンズ　今度はうまくいくから。
マリオン　私、あなたたちのこと、信用してないのよ。
バーンズ　マリオン。
アンソニー　（激怒）いいかげんにしないか！　いくらスターだからって！
マイルズ　（諌める）アンソニー！
アンソニー　わがままも度が過ぎる！
バーンズ　アンソニー！
マリオン　・・・フン！　あんたはそんな調子だから、人が逃げて行くのよ。
キャシー　（えらく慌てる）マリオン。お願い。あなたの気に入るようにするから、なんでも言ってちょうだい。どうしたらいいの？
マリオン　私の代役やってるジュリーって子、クビにしてちょうだい。

顔を見合わせるスタッフ。モイラも退場。楽屋の照明が落ち、舞台前が明るくなる。トニーがジュリーを連れて舞台中央へ。

トニー　ジュリー。今度は少し踊ってみよう。（女性キャストたちに）君たちも参加してくれ。・・・ファイブ、シックス、セブン、エイト。

踊るトニーとジュリー。女性キャストたちが稽古に加わる。ピアノを弾くＭＣ。

女性キャストたち　**われを忘れてしまう**
ララララララ――
瞳の輝き　ララララ
恋したら分かるはず
心を惑わせる
あなたのまなざし
憎いあなたが

手にしている宝
今日はなんだか
胸がときめくわ

トニーとジュリーの会話。女性キャストは聞き耳をたてている。

トニー　マリオンが、この曲をカットしたがってんだ。
ジュリー　いい場面なのに。
トニー　僕の場面は、３つもカットされた。彼女のツルの一声で。最初は男性の一番いい役だった。成功するチャンスだったのに。
ジュリー　あなたの気持ち、よく分かるわ。私たち無名の人間には。

君ならよかったのに
僕の相手が
あなたならよかったのに
私の相手が

二人、抱き合い、キス。照明、溶暗。Ｍ４終了。

Ｍ５「犯行時間」

あやしい音楽と、うごめく人々。下手の照明にリンダが浮かぶ。

リンダ　**何かが起こる**
今夜きっと

下手の照明消えて、上手に照明。キャシーが浮かぶ。

キャシー　**決着つけよう**
今夜こそは

上手の照明消える。変わって中央に照明。帽子の女（マリー）登場。周囲を窺い、ドアをノックするしぐさ。【ＳＥ／ドアノック音２回】中央の照明消えて下手の照明がつき、リンダが浮かぶ。

リンダ　**誰だろう　あの女**
彼女の楽屋へはいったわ

下手の照明消えて上手の照明がつく。ジュリーとトニーとノーマ。

ジュリー　マリオンが私を？

ノーマ　そうよ。楽屋へ来てくれって。今すぐ来てほしいそうよ。

ジュリー　・・・分かった。（トニーと顔を見合わせる）

上手の照明消えて、中央の照明がつく。言い争うアンソニーとキャシーとスタイガー。

スタイガー　ムーアさん、落ち着いて！

アンソニー　もう我慢できない！　殺してやる！　殺してやる！

キャシー　あなた！

アンソニー　これが黙っていられるものか！

キャシー　あなた！　冷静になって！

中央の照明消えて、下手の照明がつく。

リンダ　**すべてを見てやるわ**

今夜ずっと

下手の照明消えて、上手の照明がつく。

バーンズ　ダメだ。スポンサーとの契約があるんだ。

マイルズ　契約？

バーンズ　ジュリーはクビに出来ない。

マイルズ　では、消えるのはあの大女優だ。

上手の照明消えて、中央の照明がつく。泣いているジュリー。

ジュリー　あああ・・・・！（泣く）

中央の照明消えて、下手の照明がつく。

リンダ　**何かが起こった**

あの部屋で！

音楽、緊迫する。マリオンの部屋に忍び込もうとするリンダの動きが、緊迫した照明でコマ落としのように描かれる。哄笑するリンダ。退場。音楽ストップと同時に中央の照明がつく。プロデューサーのバーンズと演出家のマイルズが立つ。

バーンズ　マイルズ。マリオンが殺された。警察を呼んでくれ。

マイルズ　！

衝撃の音楽。Ｍ５終了。中央の照明消えて、バーンズとマイルズは退場。雨音とクルマの走る音、ニューヨークの雑踏の【ＳＥ】先行で照明がつく。夜の雨のニューヨーク。傘をさして歩くニューヨーク市民。舞台中央はアポロ警部が運転する自動車。ドアを開け、助手席にワトソン刑事が乗り込む。

ワトソン刑事　（【ＳＥ】クルマの窓ノック2回。クルマのドアを開け、閉めて乗り込む）初めて警部とコンビを組みます、ビル・ワトソン刑事です。

アポロ警部　ワトソン君？

ワトソン刑事　はい。あいにくの雨になりましたね。ニューヨーク市警イチと評判の警部と捜査に当たれて幸せです。しかも現場はブロードウェイ・・・（眺めて感嘆）（【ＳＥ】エンジンキー）警部はミュージカルなんて観ます？

アポロ警部　観るよ。君は？（【ＳＥ】自動車を発進させる）

ワトソン刑事　田舎では映画専門でした。

アポロ警部　この街に来たらミュージカルだよ。

ワトソン刑事　勉強します。殺されたマリオン・デイっていう女優を御存知ですか？

アポロ警部　（うなづいて）トニー賞を二度受賞している大物さ。最初は歌手として売り出してね。歌がヒットして有名になったあと、ミュージカル女優になった。彼女が襲われたのは、これで二度目だ。

ワトソン刑事　二度目？

アポロ警部　一度目は20年前。「リック・ハリスン事件」と言って、舞台のプロデューサーに刺された。

ワトソン刑事　犯人の名がリック・ハリスンですか？

アポロ警部　そう。犯人は逮捕される前に自殺したが、彼女は一命を取りとめ、女優として成功した。

ワトソン刑事　（溜め息）この街には、そんな話がたくさん埋もれてるんでしょうね。

アポロ警部　そうだな。

ワトソン刑事　いろいろと教えてください。先輩！

Ｍ６「ニューヨークにやって来たら」

警部＆刑事と傘をさしたニューヨーク市民による歌と踊り。

アポロ警部　ニューヨークにやってきたら

ワトソン刑事　ニューヨーク　ニューヨーク

アポロ警部　映画より

ワトソン刑事　映画より
アポロ警部　テレビより
ワトソン刑事　テレビより
アポロ警部　ミュージカルを観ること
ワトソン刑事　ララララ・・・・

アポロ警部　半額売り場はチケッツへ
食事ならサーディーズ
通の人ならアルゴンキン・ホテルへ
ミュージカルを観よう

ワトソン刑事　オーイエー

アポロ警部　ニューヨークにやってきたら
ワトソン刑事と市民　ニューヨーク　ニューヨーク
アポロ警部　誰も彼も
ワトソン刑事と市民　誰も彼も
アポロ警部　夜は出かけて
ワトソン刑事と市民　夜は出かけて
アポロ警部　ミュージカルを観るもの
二人と市民　アアアアアアア
アアアアアーア

二人と市民　歌も踊りも見放題
よりどりみどりのこの街へ
子供連れでも旅行者でも

二人と市民　ミュージカルを観よう
ハレルヤ　ハレルヤ　ハレルヤ！

M6終了。照明変化。ミュージカルのカンパニーの人々が中央に集められる。警部と刑事は人々の背後で椅子を片付け舞台下手奥へ。プロデューサーが口を開く。

バーンズ　実は、マリオンが殺された。

カンパニーの人々、悲鳴などそれぞれの反応。

バーンズ　楽屋で。何者かに首を締められた。もちろん、外部の者の犯行だろう。今、警察を呼んだ。私たちも事情聴取をされると思うが、どうか冷静になって、対処してほしい。マリオンの代わりは、代役のジュリーにつと

めてもらう。

カンパニーの人々、それぞれの反応。ざわめく。

バーンズ　プレビュー初日まで時間がない。すぐに稽古を始める。最高の作品に仕上げて、マリオンにたむけたいと思う。（絶句。泣き出す）私とマリオンとは、20年来の友人だった。ブロードウェイの歴史に燦然と輝く才能を失って、まことに悲しみに堪えない。今は一刻も早く、邪悪な犯人が捕まってくれることを願うのみだ・・・。諸君！　カンパニーにとって、きびしい船出となった。だがショーは、まさに生まれ出ようとしている！　みんなの力で成功させてほしい！　マイルズ。

マイルズ　すぐ稽古を再開する！　ジュリーのナンバーを中心に振付を行う。

キャシー　Ｍ４から振り付けるわ。小道具を用意して。今日は悪いけど全員帰らないで、劇場にいてちょうだい！

カンパニーの人々、ざわめきと共に動き出す。照明暗くなる。

アニー　あんた、なんで泣いてんの？

パール　プロデューサーの涙に感動したの。

アニー　（あきれた表情）

バーンズとマイルズは舞台下手へ行き、劇場に到着したアポロ警部とワトソン刑事を下手端の楽屋口で出迎える。楽屋口のカウンターに劇場管理人のイーサンが立つ。【ＳＥ】雨の音。傘を傘立てに置く警部と刑事。

マイルズ　警察の方ですか？

アポロ警部　いやあ、ひどい降りですなあ。（警察バッジケースを見せて）ニューヨーク市警のアポロ警部と、助手のワトソン刑事です。おくやみ申し上げます。

バーンズ　このショックから立ち直るには、長い時間が必要でしょう。製作のバーンズです。（握手）こちらは演出家のマイルズ。

アポロ警部　バーンズ・・・ヴィクター・バーンズ氏？

バーンズ　ええ。

アポロ警部　やっぱりそうだ。雑誌で見たことありますよ。ブロードウェイで５本の指にはいるプロデューサーだそうで。

マイルズ　１番だ。作品をヒットさせるためなら親でも殺す。

全員、ギョッとしてマイルズの顔を見る。劇場管理人のイーサン（老人）が、弱々しい声で来客の警部に声をかける。

イーサン　お客様は、こちら（来客名簿）に名前を書いてください。
バーンス　いいんだ、イーサン。警察の方だ。
アポロ警部　いや、書きますよ。決まりでしょ？（書きながら）こちらの方は？
バーンス　劇場管理人だ。
アポロ警部　アポロ警部と助手のワトソン刑事です。（握手）
イーサン　（握手）エドワーズです。
アポロ警部　イーサン・エドワーズ？　西部劇のヒーローですな。
バーンズ　楽屋は三階です。こちらへどうぞ。

イーサン、ショックを受けた顔。音楽。照明変化。

M６A「マリオンの楽屋へ（BGM）」

舞台奥に照明がつくと、マリオンの楽屋。椅子が数脚と小テーブル。衣裳を吊したハンガーラック（シテンダー）と、灯入れしたスタンドライト。楽屋入り口のドア枠と楽屋のトイレに続くドア枠。シャンペングラスが二つ。一つは割れて床に転がり、一つはテーブルの上。マリオンが死んでいる。首に巻き付いたロープ。バーンズ、アポロ警部、ワトソン刑事、マイルズの順に楽屋にはいる。MCが人物の動きを見ている。M６A終了して芝居開始。

バーンズ　ここです。何もさわっておりません。
アポロ警部　かわいそうに・・・縄で首を締められた？　犯行時刻は・・・。
バーンズ　私たちが最後に彼女の楽屋から出たのが夕方６時頃。事件を知ったのが７時頃です。
アポロ警部　17日の６時から７時。服が濡れています。水がかかったかな？
マイルズ　・・・さあ。
アポロ警部　第一発見者は？
バーンズ　ダンサーのリンダです。向かいの楽屋でした。
ワトソン刑事　少し部屋が荒らされていますね。物取りの犯行かな？
アポロ警部　（上手を指さして）そのドアは？
マイルズ　トイレですよ。
アポロ警部　トイレ？

ワトソン刑事は、トイレのドアを開ける動きをして、中にはいる。

ワトソン刑事　トイレの中に窓があります。鍵が開（あ）いている。（トイレの窓を開け【SE】窓から顔を出して左右を見る）ここから侵入できます。

思ったとおりだ。賊はそこから忍び込んだ。そしてマリオンが一人になったスキをみてドアを開け、襲いかかった。

バーンズ　ありえますな。（ワトソンに続いて、トイレを覗き窓を見る）

アポロ警部　最近、劇場街では盗難が増えていましてな。ぞくに言う楽屋泥棒ってやつです。

マイルズ　はあ。しかし、この窓は中庭に向かって開（あ）いている。外部からははいれません。楽屋からなら伝わって来られるな。（ワトソンに）楽屋割り、調べてくれる？　誰がどの部屋を使ってたか？

アポロ警部　分かりました。

ワトソン刑事　君は内部の者の犯行だと言うのかね？

バーンズ　はい。しかしこの部屋は三階だ。もし窓の外から壁を伝ってはいって来たとすると、この雨の夜、そうとう身軽なものでないと。ワトソンくん、君なら外からはいれるかね？

アポロ警部　（もう一度窓から首を出し左右と下を見て）いやー。こわいですね。

ワトソン刑事　そうだろうね。（推理小説「モルグ街の殺人」を思い出して）犯人はオランウータンかな？　窓の鍵はいつも開いてるんですか？

アポロ警部　分からんね。部屋によりけりだろう。

ワトソン刑事　（ワトソンに）ほかの窓の鍵を調べてくれ。

アポロ警部　はい。（トイレの中は）ここは、うっすらとタバコの臭いがしますね。パイプだよ。

楽屋係のモイラが、ドアを開ける仕草をして楽屋に登場。

モイラ　あぁっ！　どうしたのです！

バーンズ　モイラ。マリオンが殺された。

モイラ　えぇっ！・・・・なんてことを！（驚き、泣き崩れる）

アポロ警部　誰です？

バーンズ　楽屋係のモイラだ。マリオンの楽屋を担当してた。

アポロ警部　お出かけだったんで？

マイルズ　ああ。小道具のネックレスがなくなったので、隣の州まで買いに行ってもらったんだ。

アポロ警部　見せてください。マリオンさんが使う小道具ですか？

マイルズ　そうだ。マリオンの私物だったんだが、なくしてしまってねえ。

アポロ警部　それで隣の州まで買い物に出かけた？　何時に？

モイラ　6時頃です。

アポロ警部　じゃあ、2時間も出かけていた。

モイラ　ええ。

アポロ警部　ちょっとレシート拝見。（レシートを見る）二百二十ドル？　二百二十ドルですか？

マイルズ　なんだね？

大女優の私物のネックレスにしては、ずいぶん安いなあと。

アポロ警部　・・・まあ、小道具だからね。

マイルズ　彼女はこの楽屋を担当しているんでしょ。だったら彼女がいなくなれば、マリオンはたった一人になるわけですねえ。犯人にとって都合のいい人ばらいになるわけだ。

アポロ警部　なるほど！

バーンズ　あなたを買い物に行かせるよう命じたのは誰です？

アポロ警部　マイルズさんです。（指さす）

モイラ　いやん！

マイルズ　（手錠を出してマイルズに近寄る）殺人容疑で逮捕します。

ワトソン刑事　待って！　俺じゃない！　彼女は自分で行くって言ったんだ！

アポロ警部　・・・警部！　シャンペングラスがここに。割れています。もう一つはテーブルの上にありますねえ。

バーンズ　この濡れた服はシャンペンのあとか。誰かと乾杯していたんだ。

アポロ警部　それでは仲のいい人物か！

マイルズ　（大きい声で）マイルズさん！

バーンズ　（びっくりして）ハイ！

アポロ警部　殺されたマリオンは、誰かに憎まれていましたか？

マイルズ　と、と、とんでもない！

アポロ警部　バーンズさん。

バーンズ　彼女は、素晴らしい人格者だった。誰からも愛され、崇拝される偉大な演劇人だった。

マイルズ　（必死で何度もうなづく）

バーンズ　憎まれるなんて、そんな。

モイラ　いいえ・・・誰もが彼女を憎んでいました。彼女を残して買い物に行く時、不安だったんです。激しい言い争いをしていましたから。

アポロ警部　誰と言い争いを？

モイラ　この二人と、作家のムーアさん、振付のキャシーさんです！

マイルズ　なんてことを言うんだ！

モイラ　本当のことです！

マイルズ　君だって憎んでたじゃないか！

モイラ　そんなことありません！

ワトソン刑事　マイルズさん。この人は2時間もかけて隣の州まで買い物に行かされてた人ですよ。つまり、この事件には無関係です。そんな人が嘘を言いますか？

マイルズ　うっ・・・。

ワトソン刑事　（マイルズに詰め寄る）署まで来てもらいましょうか！

アポロ警部　モイラさん。あなた、今買い物から帰って来て、この部屋にはいって、初めてマリオンの死を知ったんですか？

モイラ　ええ。そうです。

アポロ警部　それまでにマリオンがこの部屋で殺されていることを聞いてない？

モイラ　ええ。

アポロ警部　誰にも？

モイラ　もちろんです。出かけてたんですから。

アポロ警部　おかしいですなあ。あなた、今この部屋にはいる時、ノックしなかった。ここはマリオンの楽屋でしょ？　楽屋って、着替えをしていることだってあるじゃないですか。彼女が生きていると思ってる人が、なぜノックしないんです？

モイラ　！（動揺）・・・忘れたんです。不安が大きかったもので。

アポロ警部、シャンペングラスに指をつけ、舐めてみる。

アポロ警部　バーンズさん。これは内部の者の犯行の可能性がある事件です。しかも、犯人は二重三重の手を使って、執拗に彼女を殺そうとしている。単純な物取りとは考えられません。

バーンズ　二重三重とは？

アポロ警部　部屋にあった二つのシャンペングラス。このグラスには、毒がもられています。（全員、驚きの表情）

ワトソン刑事　警部。鑑識が到着しました。

アポロ警部　頼むよ。

音楽。照明、溶暗。全員の移動と転換。照明アポロ警部のみフォロー。警部は舞台前に進む。

M7「ブロードウェイ殺人事件」

アポロ警部　これは難しい事件だ
複雑にからんでいる
ブロードウェイの劇場で
殺された大女優

コーラス　ラララララ――――

アポロ警部　彼女の名はマリオン・デイ
輝くスターだった

マリオン、中央に登場してポーズ。花を持ったダンサーたちが周りを取り囲む。

アポロ警部　**ミュージカルの稽古中に**
仲間に殺されたのか

ダンサーたち、花の中からナイフを取りだしていっせいに刺す。

マリオン　**ア――――ッ!!**
アポロ警部　**それとも犯人はスタッフか?**
マリオン　プロデューサー?（銃で撃つ）【ＳＥ】「バン！」
アポロ警部　グアッ！
マリオン　演出家?（バットで殴る）【ＳＥ】「ゴン！」
アポロ警部　ギャッ！
マリオン　劇作家?（毒入りシャンパンを飲ませる）
オエー！

倒れるマリオン。楽屋係のモイラが助け起こそうとする。

アポロ警部　**楽屋係も怪しい**（助けると思ったら首をしめる）【ＳＥ】「ギュー！」
マリオン　ギーッ！
アポロ警部　さて。**犯人はいったい?**
マリオン　（身を起こして）**早くつかまえて**
アポロ警部　**ニューヨーク　タイムズ・スクエア**
謎が渦巻くブロードウェイ殺人事件
コーラス　**アアアア――――――――**
ア――――――――――

Ｍ７終了。

Ｍ８「コーラスガール」

ワトソン刑事登場してアポロ警部を呼ぶ。

ワトソン刑事　警部！　来てください！　舞台で稽古が始まっています！　キャストたちに話を聞くチャンスですよ！

ショーの稽古をするジュリーとキャストたち。振付をするキャシー。

ジュリー　**今は小さい名前だけど**
いつかは大きく

看板に光るわ
スターになって

コーラスガールが私の仕事
これしかできない
恋も遊びも今はおあずけ
大事な夢がある

64丁目のアパートで
ピーナツパンを食べ
雑誌は近くの本屋で立ち読み
素敵な夢を見る

今は小さい名前だけど
いつかは大きく
看板に光るわ
スターになって

コーラスガールが私の仕事
これが好きだから
恋もデートも芝居でするわ
劇場の舞台で

45丁目のスタジオに毎日
レッスンに通い
おなかがすいたらデパートの地下へ
試食をつまもう

今は小さい名前だけど
いつかは大きく
看板に光るわ
スターになって

そうよ　私はコーラスガール
だけど夢がある
田舎の親を呼んで
リムジンに乗せて
劇場に光る大きな
私の名前を見せる
その日を

リンダ
テレサ
アニー
パール

ベティ
ドナ
ミリアム
クラウディア

コーラス

ジュリー

コーラス

コーラスガール
コーラスガール
ア――――――　パヤッパ

リフトされるジュリー。Ｍ８終了。

ワトソン刑事　素晴らしい。彼女（ジュリー）は犯人じゃありませんね。
アポロ警部　（大きな声で）すみません。ニューヨーク市警のアポロですが、ちょっと皆さんにお話をうかがいたいんです。
キャシー　なんでしょうか？
アポロ警部　あなたは？
キャシー　キャシー・ムーアです。振付を担当しています。
アポロ警部　そちらは？
アンソニー　劇作家のアンソニー・ムーアです。
アポロ警部　同じ名字ですね。
キャシー　ええ。夫婦ですから。
アポロ警部　夫婦で同じ職場ですか。いいですねえ。
アンソニー　そうでしょうか。その分、喧嘩も多くなります。
アポロ警部　皆さん、どうぞ楽にしてください。マリオンの楽屋係の女性が・・・。
アンソニー　モイラ？
アポロ警部　ええ、そう。モイラ。彼女が買い物に出かける前、あなたと奥さんが、楽屋でひどく言い争っていたと言ってるんですが、どんな言い争いを？
アンソニー　いやあ、たいしたことじゃありません。マリオンがネックレスがないと稽古をしないと駄々をこねていたんで、たしなめていたんです。初日前にはよくあるトラブルです。
アポロ警部　そうでしょうな。本番前には誰だって気が立つものだ。皆さんにお聞きしたい。死んだマリオンと皆さんは、うまくいっていたんでしょうか？それともトラブルの連続だった？

全員、それぞれの反応。

キャシー　もちろん、うまくいってましたわ。
アンソニー　その通り。無論、小さなイザコザはあったかもしれません。舞台とは議論の場ですから。だがおおむね、うまくいってました。
アポロ警部　どんな小さなことでもいいんです。たとえば、マリオンが死んで一番得をした人物は誰なのか、知ってる人は教えていただけませんか。

数人がジュリーの顔を見る。ジュリー、青ざめた顔で進み出る。

ジュリー　・・・一番得をした人物は、私だと思います。
アポロ警部　あなたは？
ジュリー　ジュリー・ハリス。マリオンの代役でした。
アポロ警部　（メモを取る）ジュリー・ハリスンですか？
ジュリー　ハリスです。
アポロ警部　マリオンが亡くなったので、あなたがこの舞台の主役に？
ジュリー　・・・はい。
アポロ警部　そうですか。つまり、チャンスをつかんだと。
ジュリー　（語気を強めて）私は彼女を尊敬していました。彼女のようになりたいと思って、この道を目指したんです。
アポロ警部　ということはどこかで彼女の舞台を観た？
ジュリー　・・・もちろん。
アポロ警部　いつ頃です？
ジュリー　高校時代です。
アポロ警部　（矢継ぎ早に）何年前？
ジュリー　7、8年前。
アポロ警部　（矢継ぎ早に）どこで？
ジュリー　ボルチモア。
アポロ警部　ボルチモア。私もよく知っていますよ。どちらの劇場ですか？
ジュリー　ええ・・・（言葉に詰まる）。
アポロ警部　アンバサダー劇場？
ジュリー　そうです。アンバサダー劇場。
アポロ警部　いい劇場ですな。あなたボルチモア出身？
ジュリー　いえ。（下を向く。やや言いよどみ）ニューイングランドです。
アポロ警部　ニューイングランドですか。
ジュリー　私が彼女の死を喜んでいるとお思いですか？　まったく勘違いもいいところです！
トニー　そうだ！　ひどすぎる！　ジュリーを疑うよりまず僕を疑え！　彼女がマリオンを恨む理由はないが、僕にはあるぞ！
アポロ警部　なぜ恨む理由が？
トニー　マリオンは僕の出番を削って小さな役にしてしまった。自分の出番を増やすため、僕の役をどんどんカットしていったんだ！
アポロ警部　どんどん？　じゃあ何度も台本を書き替えた？　誰が書き替えたの？
トニー　作家ですよ。（アンソニーを指す）
アポロ警部　（アンソニーに近づく）ということは、あなたが書いた本が気に入らなかった？
アンソニー　いや・・・。
アポロ警部　苦労して書いた本を変えられるのは嫌でしょうな。それも何度も。
アンソニー　・・・マリオンは、自分がよくなることしか興味がなかったんだ。

間。キャシーは心配そうに夫の顔を見る。

アニー　刑事さん。言いたかないけど、彼女は本当にヤな女だったわ。

アポロ警部　そう？

アニー　ええ。大女優かもしれないけど、あんな態度じゃ誰だって嫌うわ。

テレサ　彼女のせいで稽古が遅れたのは事実だわ。何度も演出をさせ直すし。

ベティ　楽屋から出て来ないし。

パール　みんな困ってたわ。

ドナ　刑事さんは、私たちの中に犯人がいるとお思いなんですか？

アポロ警部　まだ分かりません。殺人事件には、はっきりした動機が必要です。

アニー　動機はみんなにあるわ。

キャストたち、どよめく。

アポロ警部　皆さんの中で、見知らぬ人間を見た人はいませんか？　今日、事件が起きた時間に、劇場の中で、カンパニー以外の人物を見かけなかったでしょうか？

キャストたち、顔を見合わせる。

リンダ　私、見たわ。女が一人、マリオンの楽屋にはいって行くのを見たの。

アポロ警部　何時頃？

リンダ　６時頃です。

アポロ警部　どんな女でした？

リンダ　帽子で顔をかくしていたんで、顔は見ていません。

アポロ警部　（メモ）帽子の女。あなたは？

リンダ　リンダです。

アポロ警部　第一発見者の？

リンダ　私の楽屋はマリオンの向かいにあってドアを開けていたので、彼女の楽屋にはいった人は全部見てます。

ワトソン刑事　これで犯人をしぼれますね！

アポロ警部　正直に言えますね？

M８A「楽屋にはいった人物（BGM）」

リンダ　ええ。帽子の女の次は、劇作家のムーアさん。少したって振付のキャシーと舞台監督のスタイガー。三人が出て行ったあとは、ジュリーが。

アポロ警部　それが最後ですか？

リンダ　（ゆっくりうなづき）ジュリーが最後です。

アポロ警部　そのあと、あなたはマリオンの楽屋を開けて、彼女が死んでいるのを発見した。

リンダ　ええ。その通りです。

アポロ警部　なぜマリオンの楽屋を開けたんです？

リンダ　へんな音がしたからです。何かが起こったと思いました。

アポロ警部　最後に出て行ったジュリーさんの様子はどうでしたか？

リンダ　泣いていました。とても混乱して、取り乱しているようでした。

ジュリー　（顔を覆って泣く）

アポロ警部、ゆっくりとジュリーに近づく。Ｍ８Ａ終了。

アポロ警部　（優しく）なぜ泣いていたんです？

ジュリー　・・・この舞台を降りろと言われたからです。

全員、驚き、ざわめく。

ジュリー　だけど、私じゃありません！　私はマリオンを殺していません！　お願いです、警部さん！　私を信じてください！　お願い！（泣く）

トニーはジュリーを抱く。下手より楽屋係のモイラが登場。

モイラ　刑事さん！　マリオンの衣裳についていたダイヤが盗まれています！

Ｍ８Ｂ「盗まれたダイヤ（ＢＧＭ）」

音楽。照明暗くなり、転換。警部、刑事、モイラは舞台奥へ。リンダは舞台前に。アニーとパールが驚きと疑いの目でリンダを見つめる。リンダは誰とも視線を合わさず上手に退場。

アニー　オー・マイ・ガーッド。リンダだわ。

パール　（うなづく）

舞台奥中央にマリオンの衣裳を吊したハンガーラック（シテンダー）が出される。バーンズとマイルズが側に立つ。警部、刑事、モイラが駆けつけて照明が明るくなり、音楽Ｍ８Ｂ終了。

モイラ　この服です。この胸についていたダイヤがなくなっています。

アポロ警部　（衣裳を手に）どういうものだったんですか？

モイラ　これも彼女の私物です。昔、ルドルフ・バレンチノが持っていたものだ

と自慢していました。スターのしるしだと。

アポロ警部　はあ。するとえらく高価なものですね。不思議ですなあ。なくなったネックレスは安物で、こっちのダイヤは高価なんですか？

モイラ　・・・ええ。

アポロ警部　手荒くひきちぎったんでしょうなあ。衣裳の白い羽根も一緒に抜かれている。

バーンズ　アポロ警部。これではっきりしたんじゃないかね？　犯人はこの宝石を盗もうと楽屋に侵入した。そこをマリオンに見つかったため、彼女を殺害した。

アポロ警部　違いますよ。マリオンはずーっと楽屋にいたんです。宝石が目的なら、楽屋に誰もいない時を狙うはずだ。

バーンズ　ではどうして？

アポロ警部　分かりません。今日はここまでにしましょう。明日、鑑識の結果が出れば、何か分かるかもしれません。それじゃ。

警部と刑事、下手へ移動。下手の照明がつく。劇場の楽屋口（カウンター）。管理人のイーサンと出会う。

イーサン　ご苦労さまです。

アポロ警部　どうも。（置いていた傘を取り）ああ、雨がやみましたな。

イーサン　主演女優が亡くなったそうで。

アポロ警部　殺しだよ。

イーサン　大変なことで。

アポロ警部　ここにある「来客名簿」ね。ちょっと見せてもらえませんか。マリオンが殺された前後に劇場に出入りした人の名前が知りたいんだ。

イーサン　どうぞ。（来客名簿を渡す）

アポロ警部　（来客名簿を見る）・・・午後6時。マリー・オブライエン。この人は誰？

イーサン　マリオンの関係者だそうです。

アポロ警部　帽子をかぶっていた？

イーサン　ええ。マリオンの楽屋にはいって行きました。

アポロ警部　あなた、それどこで見てたの？（来客名簿を返す）

イーサン　この部屋のモニターですよ。ここで中の様子が分かるんです。

アポロ警部　なるほど！　管理人室にモニターがあるんだ。じゃあここにいれば、誰が楽屋にはいって出たか、全部見えるんだ。

イーサン　はい。

アポロ警部　（声をひそめて）あなた、いつもこの部屋は一人で？

イーサン　そうです。

アポロ警部　それは心強い。是非私どもに協力をお願いします。

イーサン　喜んで。

アポロ警部　（メモ帳を出して）午後6時から7時の間、帽子の女の他にマリオンの楽屋にはいった人はいなかった？

イーサン　劇作家のムーアさんご夫妻と舞台監督です。

アポロ警部　（メモ）ムーアさん夫妻と舞台監督。

イーサン　楽屋から出て来たあと、三人でもめてるようでした。

アポロ警部　舞台監督のあとは？

イーサン　・・・いえ・・・誰も。

アポロ警部　（イーサンを見つめる）あなたはいつからここで働いてるの？

イーサン　2年ほど前からです。

アポロ警部　マリオンがこの劇場に立つのは初めて？

イーサン　私が来てからは初めてです。

アポロ警部　そう。ところで、マリオン・デイという女優は、若い頃、たしか映画に出ていたと思うんだ。レイモンド・ミラーと共演した。あれはなんていう題名だったか忘れてしまって。

イーサン　「らせん階段」ですよ。

アポロ警部　「らせん階段」そうだ！　マリオンの若い頃に詳しいんですな。またお聞きします。

警部と刑事、楽屋口を離れる。ひきつった顔のイーサン。舞台奥中央に「テレビ枠」が降りる。

アポロ警部　あの管理人の身元をあらってほしい。

ワトソン刑事　怪しいですか？

アポロ警部　イーサン・エドワーズという名前。あれは偽名だよ。復讐に燃える西部劇の主人公だ。

ワトソン刑事　なぜ偽名を？

アポロ警部　自分の正体が割れては困るからだ。

M9「マリオンのすべて」

音楽。警部と刑事退場。舞台中央でテレビの特集番組が始まる。殺された大女優マリオン・デイの人生がテレビショーで演じられる。

コーラス　**ア――――――ザ・テレビジョン**

アニー　8チャンネル。朝のニュース・ショーです。

パール　舞台女優マリオン・デイが殺されました。

テレサ　新作の稽古中に起きた悲劇です。

リンダ　今日は彼女の特集を、過去のインタビューを交えてお送りします。

ナオミ　マリオン・デイは貧乏な移民の娘。
マリオン　確かな出生証明書もないわ。
フェイフェイ　幼い時に両親は離婚。
マリオン　とにかく強く生きなきゃと思ったの。
ノーマ　乱暴者よ。友達のいない孤独な子供だった。
エイプリル　５歳の時にはもう嫌われもの。
マリオン　世界には敵と味方がいるってことなのね。

パール　**きびしい人生のスタート**

ベティ　八歳で早くもアルバイト。
マリオン　違法なモノを売る仕事よ。
ドナ　盗みで何度も警察へ。
マリオン　食事の心配はなかったわ。
ミリアム　学校もまともに行かなかった。（蹴られる）アウッ！　嫌な子！

リンダ　**最低の人生のスタート**

コーラス　**そんなマリオン**
惨めなマリオン
ある日人生を変えた出来事
素敵な恋

恋人（トニー役の俳優が演じる）登場。男に惚れるマリオン。

恋人（トニー）　**俺のところへおいで**
シャンデリアと豪華なソファー
たらふく食わせてやろう
俺の情婦になれば

【ＳＥ】銃声。恋人は男に撃たれて死ぬ。泣き叫ぶマリオン。

パール　**彼はヤクザだった**
マリオン　（泣く）
アニー　**街角に立った**
マリオン　一万円ポッキリでいいよ。
テレサ　**マリオンの前に**
マリオン　五千円でいいから。
ノーマ　**一人の男が**

マリオン　二千円でいい。
クラウディア　現れた
マリオン　百円均一！
サンドラ　その男の名は、リック・ハリスン。マリオンの人生を変えた、最初のプロデューサーでした。

マリオンに百円を渡す男（リック・ハリスン＝ＭＣ役の俳優が演じる）。二人はベッドに寝る。情事のあとで煙草をふかすマリオン。

ＭＣ（リック）　俺は芸人なんだ
アメリカ中　旅して回る
シンガーが一人足りない
君ならスターに

リックは退場。マリオンはショーの衣裳に早替わり。

コーラス　ガータ・ダンス（gotta dance）！　ア――――
ガータ・ダンス（gotta dance）！　ア――――
ショーの世界に飛び込んだ
ア――――

マリオン　きらめくリズムと
胸躍るライト
拍手が聞こえる
ここが私の生きる場所

新しい衣裳と
歌をもらって
私は言われた
これが君の生きる人生

みんなが私を讃えてくれる
歌とダンスを愛してくれる
すべてが変わった私の毎日
貧しさも悲劇も
みんな楽しいミュージカルに
変わった

華やかに踊るマリオンとダンサー。曲のラスト、マリオンは中央でポーズ。周囲をダンサーが囲む。音楽はスローになる。ダンサーた

ちの背後にマリー・オブライエンの事務所のテーブルとソファーセットが置かれる。テーブルの上にグラスと水差し。

コリン　ひたすらに、ショーの世界を生きたマリオン。
ピーチ　しかし、悲劇は起こりました。
エイプリル　何者かが、マリオンの命を奪ったのです！
サンドラ　さよなら、マリオン！　そして永遠に！
テレサ　お送りしたマリオンの人生は、現在発売中の話題の本「マリオンのすべて」からお届けしました。
フェイフェイ　作者のマリー・オブライエンさんです！

【ＳＥ】拍手の音でマリー・オブライエン登場。中央に立つ。
舞台中央奥の「テレビ枠」がアップする。

コーラス　**ア――ア――ア――ア――**
ア――――――――――――

Ｍ９終了。舞台はマリーの事務所になる。アポロが本を手に登場。

アポロ警部　マリー・オブライエンさん？
マリー　そうですが、あなたは？
アポロ警部　（警察バッジケースを見せて）ニューヨーク市警のアポロ警部です。ちょっとお話をうかがいたいんですが。
マリー　テレビや雑誌の打ち合わせで、あまり時間がありませんの。
アポロ警部　あまりお手間は取らせません。いくつか質問したいだけで。
マリー　そう？　なるべく早くしてくださいね。
アポロ警部　はい。すみません、水を一杯いただけますか。慌てて来て、喉が乾いてしまって。
マリー　どうぞ。
アポロ警部　どうも。（水を飲む）あなたのご本、「マリオンのすべて」読ませていただきました。驚きました。初めて知ることばかりで。女優マリオン・デイについて、あなたほど知ってらっしゃる方は他にいないでしょう。
マリー　20年も、そばにいましたから。
アポロ警部　元マネージャーだそうで。
マリー　そして親友です。
アポロ警部　あなたは、マリオンが殺された日に、マリオンの楽屋に行っていますね。劇場の来客名簿に名前がありました。あなたは顔を見られないように、深く帽子をかぶっていた。そうですね？
マリー　・・・ええ。行きましたわ。それが何か？
アポロ警部　マリオンの死に、あなたが関係してるんじゃないかと思ったもので。

（笑う）

マリー　この本が出版されたのは、マリオンが殺された翌日です。あまりにもタイミングが良すぎる。私、出版社に行って聞いてみたんです。そしたら、この本はもう去年から刷り上がっていたそうです。あとはただ出荷すればいいだけだった。ところがずーっと倉庫に置いたままになっていた。マリオンが出版に反対していたからです。この本には、スキャンダラスなマリオンの実像が出てきます。特に「リック・ハリスン事件」に詳しい。悲惨な事件でしたな。マリオンがショーの舞台を直前で降りて映画に出演したせいで、舞台を仕切っていたプロデューサーが破滅した。彼の家族全員が離散した。これを読むと、あなたは自殺した犯人に同情的だ。マリオンの方に非があったと書いている。この本が出版されたら、マリオンはあなたを名誉毀損で訴えるでしょう。だがこのまま出版されなくても大損害だ。あなたは窮地に立たされていた。抜け出る方法はただ一つ。マリオンが死んで、この本を出版することです。

アポロ警部　あきれましたわ。警部さん。

マリー　決定的な証拠があるんです。出版社によると、あなたから出版ＯＫの電話がかかってきたのは、17日の夜８時。マリオンが殺された直後のことです。ところがマリオンの死をテレビや新聞が伝えたのは翌日の朝だった。つまりあなたは、マリオンが死んで、出版に障害がなくなったことを、ニュースより前に知っていたことになる。

アポロ警部　違います。私が出版ＯＫの電話をしたのは、マリオンに頼まれたからです。

マリー　頼まれた？

アポロ警部　ええ。マリオンから電話がかかってきて、マリオンが私を劇場の楽屋に呼んだんです。私がこの本のことで彼女と喧嘩別れしたのは劇場のスタッフも知っていましたから、あまり見られたくなくて帽子をかぶって行きました。マリオンが、私の原稿を読んで怒ったことは事実です。でも、自分の欲望に正直で、なにがなんでも夢をつかもうとする彼女の個性は、もう充分知られています。ファンも支持しているんですわ。この本の出版は話題づくりになっても、決してマイナスにはならないことを、彼女も分かってくれたんです。

マリー　でもなぜあなたに頼んだんでしょう？

アポロ警部　それは彼女が舞台の宣伝をしたかったからです。初日が近いのに、チケットの売れ行きが悪いと言っていました。今この本を出版することは、これ以上ない舞台の宣伝になります。すぐに出版してほしい。そしてマスコミに宣伝してほしいと頼まれました。マリオンから頼まれたんです！　二人で仲直りの乾杯をしましたわ。シャンペンを飲んで。どう、警部さん!?　これであなたの間違いが分かった!?

M10「悲しみも知らずに」

マリー　**私が彼女を殺したなんて**
私が彼女を憎んでたなんて
何も知らない他人の言うこと
見当違いの推理よ

私は彼女のため
身を粉（こ）にして働いた　20年も
この本は彼女がくれた
私への恩返し

私が彼女をスターにしたの
彼女をつくったの
他人のあなたには分からない
私と彼女の絆

私は彼女の親友だった
彼女のひどい時も破滅からも
そばにいた私が救った
そんなことも知らずに

帰って！　もう二度と来ないで！　帰って！
私の悲しみも知らずに

M10終了。マリーは後ろを向き、泣いている様子。

アポロ警部　帰ります。よく分かりました。お水、ありがとうございました。いいグラスですな。バカラだ。彼女の楽屋にあった毒入りのシャンペングラスもバカラでした。それじゃ。

M10A「マリーの振り返り（BGM）」

衝撃の音楽。ひきつった顔でアポロ警部を振り返るマリー。M10A終了。照明暗くなり、置き道具は転換。アポロ警部は舞台下手前に進む。ワトソン刑事が走ってくる。

ワトソン刑事　アポロ警部！（紙を渡す）マリオンの楽屋から、演出家のマイルズがマリオンからカネを借りた借用書が出てきました。返済の期日が過ぎてい

ますが返した形跡はありません。立派な殺人の動機になります。

アポロ警部　そうか！

ワトソン刑事　毒のはいったシャンペングラスから、舞台監督のスタイガーの指紋が出ました。（指紋の紙を渡す）女の振付師と、劇作家の夫と言い争いをしていた舞台監督です。

アポロ警部　なんだって!?

ワトソン刑事　それから、前科者（モノ）を一人発見しましたよ。あのカンパニーの中に、常習の犯罪者がまぎれ込んでいたんです！（白黒のアーティスト写真を渡す）第一発見者のリンダです！　過去３度も盗みで逮捕されています。盗んだ品はいずれも宝石でした。宝石を見ると、我慢できないタイプなんでしょう。警部、犯人は誰ですかね？

アポロ警部　みんな怪しい。整理してみよう。

M11「犯人は誰だ」

推理するアポロ警部とワトソン刑事。

アポロ警部　まず殺されたマリオンだ

マリオン登場。

アポロ警部　彼女のまわりはみんな怪しい

代役のジュリーは主役になった

ジュリー登場。

アポロ警部　千載一遇のチャンスだ

ワトソン刑事　演出家のマイルズはカネを借りていた

マイルズ登場。

アポロ警部　返せとマリオンに脅されていたら？

ワトソン刑事　毒入りのグラスから出てきた指紋

スタイガー登場。

ワトソン刑事　この三人は何かでもめていた

キャシーとアンソニー・ムーア夫妻登場。

アポロ警部　彼は出番を削られていた

トニー登場。

ワトソン刑事　宝石を盗んだのはまず彼女だ

リンダ登場。

アポロ警部　マネージャーは暴露本で大儲け

マリー・オブライエン登場。

アポロ警部　なぜあの管理人は偽名を使っている？

イーサン登場。

アポロ警部　彼女はなぜ楽屋を離れたのか？

モイラ登場。続いてバーンズ登場。

ワトソン刑事　なぜプロデューサーはこんなに
アポロ警部　危険なカンパニーをつくったのか？
警部と刑事　驚きだ

マリオン　嘘をついているのよ
ワトソン刑事　誰かが
マリオン　そこにいるあいつが
アポロ警部　そうだ
マリオン　私の首をしめて
ワトソン刑事　確かに
マリオン　命を奪った
アポロ警部　その名は
マリオン　見つけて　お願い！

マリオン退場して全員移動。否定する容疑者たち。

ジュリー　信じてください　（ワトソン刑事）この中に
キャシー　私じゃない　（アポロ警部）犯人が
私が何を　（ワトソン刑事）どこかにヒントが

したのでしょう　（アポロ警部）あるはずだ

マリー　証拠はどこに　（アポロ警部）見つけてやるぞ

マイルズ　カネは返したぞ　（ワトソン刑事）仮面の下の

モイラ　私には完璧な　（警部と刑事）隠された

アリバイが　（警部と刑事）素顔を

警部と刑事　犯人は!?

容疑者たち　私じゃない――！

警部と刑事　誰だ――!?

音楽、盛り上がる。登場人物全員で総踊り。

容疑者たち　怪しい人はいっぱい　（コーラス）ア――

いっぱいいるけど　ア――

証拠は！　全然！　ア――

見つからない

見つからない

見つからない

ジュリー　勘違いよ　（アポロ警部）嘘だ！

男性の容疑者たち　ミステイク　まさか！

女性の容疑者たち　ほかをさがして　黙れ！

容疑者たち　私じゃない――！　くそ！　分からん！

私じゃない――！

アポロ警部とワトソン刑事は考えながら舞台中央へ。

ワトソン刑事　（上を見て）あぶないっ!!

舞台の上から大道具が警部めがけて落ちてくる。危うく飛び退いて難を逃れるアポロ警部とワトソン刑事。道具は大きな音【ＳＥ】をたてて舞台上に落下。全員退場。警部と刑事だけが舞台に残る。

アポロ警部　（苦悶の表情）犯人は、誰だ!?

音楽衝撃的に高鳴り、緞帳ダウンして、Ｍ11終了。

第一幕終了

本ベル。M11A演奏開始。
音楽開始と同時に客電アウト。5小節目までに客席暗くなる。

M11A「落下事故（BGM）」

M11Aの6小節目から緞帳アップ（暗転緞帳）。

第二幕

アニー（声のみ）
パール（声のみ）
テレサ（声のみ）
ベティ（声のみ）

オー・マイ・ガーッド！　舞台で事故よ！
事故!?
上からモノが落ちて来て、刑事さんを狙ったって！
（悲鳴）

暗い舞台。ワトソン刑事がピンに浮かぶ。

ワトソン刑事　（拳銃を手に）動くな！　誰だ！　そこで何をしてる！
MC　（震えながら手を挙げる姿がピンに浮かぶ）
ワトソン刑事　お前が落としたんだな！
MC　違う！　・・・違う！　・・・違う！
ワトソン刑事　（拳銃で誘導し）行け！　話を聞かせてもらおうか。

照明が明るくなり、M11A終了。舞台に全員集合している。

ワトソン刑事　こいつが上にいました。
アポロ警部　誰です？
バーンズ　MCと呼ばれている男だ。出演者で、スタッフとしても働いてもらっている。
ワトソン刑事　我々を狙って落としたんだな？
MC　俺じゃない！　舞台の上で男女の話し声がしたので、誰だろうと思って行ってみたら、事故が起きた！　普段は誰も行かないところなんだ！
アポロ警部　男女？　どんな男女だった？
MC　暗くて、姿は見えなかった。でも話し声がしたんだ！
アポロ警部　何を話していたか、聞きましたか？
MC　女は「やめてください」と言っていた。男は「やらなければならない」と。
アポロ警部　男女の・・・カップルか!?

M12「男と女」

警部の推理の中で、複数の男女のカップルが浮かび上がる。

アポロ警部　男と女
事件の鍵を握る
それは二人のカップル

男と女
誰かと誰か
裏で手を組んでいる
カップル　男と女

キャシーとアンソニー・ムーア夫妻が警部に近寄る。

アンソニー　私たちを疑っているなら見当違いだ。
キャシー　刑事さんを襲うなんて、そんな！

ジュリーとトニーが刑事に近寄る。

トニー　僕たちも関係ないぞ。
ジュリー　ただの共演者です。それだけです！
ワトソン刑事　でも、素敵なカップルですね。

アポロ警部の推理。次々とカップルをつくる男女の踊り。

男と女　男と女
事件の鍵を握る
それは二人のカップル

男と女
誰かと誰か
裏で手を組んでいる
カップル　男と女

アポロ警部　犯罪史上欠かせないのは
もつれ合った男女のストーリー
男と女　ア――――ア――――

アポロ警部　愛と憎しみ　出会いと別れ
めらめらと燃え上がるジェラシー

男と女　ア――――ア――――

アポロ警部　男と女　（男と女）男と女

この中にいる　誰かと誰か

しらを決め込んでいるカップル　裏で手を組んでいるカップル

それは誰だ!?　男と女！

M12終了。ワトソン刑事が紙を持ってアポロ警部に近づく。

ワトソン刑事　警部！（紙を見せて）楽屋割り表です。廊下の奥から、主演スター、マリオンのA楽屋。男性メイン・キャストのB楽屋は三人。女性メイン・キャストのC楽屋は五人。そして大部屋のD楽屋は、十二人の女性キャストがいました。スタッフはスタッフ用の楽屋に集まっています。

アポロ警部　すると一人で楽屋を使っていたのはマリオンだけか。

ワトソン刑事　はい。

アポロ警部　だんだん分かって来たぞ。

ワトソン刑事　ホントですか？

アポロ警部　分からないかね？

ワトソン刑事　全然。

アポロ警部　窓の鍵はどうだ？

ワトソン刑事　全部調べましたが、空いてたり空いてなかったりで。

アポロ警部　そうだろうな。

ワトソン刑事　今ので役にたちますか？

アポロ警部　鍵がかかっていた窓もあったんだな？

ワトソン刑事　半分くらいは。

アポロ警部　それで充分だ。

M12A「聞き込み（BGM）」

アポロ警部　これから楽屋を調べるぞ。私はスタッフに聞こう。君はキャストの楽屋を回ってくれ。

ワトソン刑事　分かりました。（楽しみで身体が震える）まずは女性の楽屋からだ！

下手舞台前に照明。椅子が二脚置かれている。バーンズとマイルスが待っている。

アポロ警部　どうぞすわってください。（M12A終了）まずマイルズさんに聞きます。

マイルズ　あなたは、死んだマリオンからおカネを借りていたそうですね。うっ。（絶句）

そうだったのか！
マリオンが死んでくれて、助かったんじゃありませんか？　もう返さなくてもよくなったんですから。

バーンズ　ああああ・・・！

マイルズ　（慌てる）ショーが幕を開ければ、返せるはずだったんだ！

アポロ警部　バーンズさん。マリオンのギャラは、それは高かったそうですね。

バーンズ　うっ。（絶句）

アポロ警部　マリオンが死んで、主役はジュリーさんになった。ギャラは桁が違うでしょう？

マイルズ　そうだったのか！

バーンズ　十分の一だ。

マイルズ　あああ・・・！

アポロ警部　ジュリーさんを代役にしたのはあなたですね。

バーンズ　そうだ。・・・いや、そうじゃなかった！　私じゃない！

マイルズ　えーっ！

アポロ警部　あなたじゃなかったら、誰なんです？

バーンズ　実は、ジュリーだけは、スポンサーが決めたんだ。

アポロ警部　ほう・・・スポンサー？

バーンズ　そう。私は今回の舞台の資金を集めようと投資家を集めてオーディションを行った。だが、カネは集まらず、あきらめようと思っていたところに、突然資金を出すという連絡をもらった。それが今回のスポンサーだ。

アポロ警部　会社ですか？　個人ですか？

バーンズ　個人だった。50万ドルが振り込まれ、その資金をもとに製作を始めることが出来た。

アポロ警部　個人としちゃ大金ですな。

バーンズ　まあ。だが、ブロードウェイ・ミュージカルの投資というものは、成功すれば投資した何倍のカネが戻って来る。なかには何十年もロングランする作品もあるから、その間（かん）ずっと配当が続くんだ。

アポロ警部　じゃあ私も投資しようかな？　で、ジュリーさんを代役にしたのは、スポンサーとの契約だった？

バーンズ　そう。スポンサーのご意向があり、ジュリーを代役にした。

アポロ警部　そのスポンサーに興味が出て来ました。お名前を聞いておきます。

バーンズ　スティンゲル。M・A・スティンゲル。

アポロ警部　（メモしながら）M・A・スティンゲル。珍しい名前だ。住所は？

バーンズ　ああ、事務所でなら調べられます。連絡しますよ。

アポロ警部　お願いします。

下手の照明、溶暗。警部、バーンズ、マイルズ退場。舞台奥が明るくなる。大部屋の楽屋に女性キャストが集められ、ワトソン刑事がはいってくる。

女性たち
ワトソン刑事

パール
ワトソン刑事
パール
ワトソン刑事
パール
ワトソン刑事
パール

ワトソン刑事
パール

ワトソン刑事
パール

ワトソン刑事
パール
ワトソン刑事
パール
フェイフェイ
ワトソン刑事
フェイフェイ

ワトソン刑事
フェイフェイ
ワトソン刑事
フェイフェイ
ワトソン刑事
フェイフェイ
ワトソン刑事
フェイフェイ
ワトソン刑事
女二人

キャアッ！（着替え中の女性は、慌てて胸をかくす）
失礼。女性キャストの皆さん、集まりましたか？　・・・これから皆さんに話をうかがいます。いいですね？　（歩きながら）皆さんの中で、怪しいと思っていたり、隠してることを知っていたら教えてください。
（ゆっくりワトソンに近づく）・・・なんでもいいの？
はい！
刑事さん。隠してることを知っているわ。
なんです？
（ひそひそ声で）誰にも言わない？
（ひそひそ声で）ええ。
あそこにいるアニーは、ボインに見えるでしょ。でも実はパットを４枚も入れているの。
（手帳にメモしながら）４枚も？
しーっ。それからあそこにいるベティ。彼女も胸が大きいけど、あれはシリコン。
（手帳にメモしながら）シリコン。
それからナオミはさ、整形してるの。初めてダンサーで一緒になった時と全然違う顔。別人なのよ。
女はコワイ。
刑事さん、いい男ね。独身？
まあね。（パールに突っつかれて）ハハハハハ。（パールを突っつく）
フフフフ。
刑事さん。犯人分かったあるか？
分からないよ。お名前は？
フェイフェイ。人間なんてさ、あの人もこの人もみんな気取っていい人ぶってるけど、ホントはさ、心の中で何考えてんだか、分からないもんよ。秘密を全部知ったら、驚くことばかりよ。刑事さん、私の秘密、知りたいあるか？
（唾を飲み込んで）知りたい。
（スカートをめくって）ほらー、刺青（いれずみ）ー。
オー！　タイガー！
他にもあるよ、さかなの刺青。どこにある思う？
どこかなー？
（耳打ち）
オー！
ハハハハ！（もう一度パールと二人で耳打ち）
ヒョー！（興奮）
ハハハハハ！

舞台奥、女性楽屋の照明溶暗。今度は上手舞台前に照明。椅子が二脚置かれている。ムーア、キャシー、スタイガーとアポロ警部。

アポロ警部　マリオンが死んだ夜、あなたたちは三人ともマリオンの楽屋にはいって行ったそうですな。ダンサーのリンダさんの証言です。不思議なことに三人一緒ではないんです。最初にムーアさんがはいり、少したって奥さんとスタイガーさんがはいった。そして三人一緒に出て来た。間違いありませんか？

アンソニー　・・・よく覚えてないが。

スタイガー　彼女がそう言ったんなら、そうだったんでしょう。

アポロ警部　非常に奇妙なことがあるんです。実に奇妙なことです。

アンソニー　なんだね？

アポロ警部　三人はマリオンの楽屋にはいった。ところが最初にはいったムーアさんだけが、ずっとトイレの中にいたんです。パイプを吸うのは、あなただけでしょう？　マリオンの楽屋のトイレにはパイプの煙がただよっていました。ところが楽屋の中はパイプの香りはしなかった。楽屋にいた多くの時間、あなただけずっとトイレの中にいた。トイレは廊下にもあります。なぜマリオンの楽屋のトイレにいたのか？

アンソニー　・・・・・・。（顔をそむける）

アポロ警部　そのあとにはいったお二人は、ムーアさんがトイレの中にいることに気づかなかったはずなんです。彼がトイレから出て来た時はさぞ驚いたでしょうなあ。そのあと、三人は楽屋から出て来て言い争いになった。喧嘩の原因はなんでしょうね？

キャシー　・・・言いたくありません。

アンソニー　フッ。言わなくたってお見通しだよ、この男には。妻がこいつと浮気していたんだ。このケモノのような男と！　マリオンはそのことを知って私をトイレに隠し、真実を聞かせたんだ！

キャシー　（ワッと泣く）

上手舞台前の照明、溶暗。舞台奥の女性楽屋が明るくなる。

女性たち　キャハハハハハ！

ワトソン刑事　ピーチちゃんの秘密は何かなー？

女性たち　（手拍子）ピーチ！　ピーチ！　ピーチ！　ピーチ！

ワトソン刑事　ワカラナーイ！　降参！

ピーチ　実は、三人の子持ちでーす！

ワトソン刑事　え――――っ！

女性たち　（爆笑）キャハハハハハ！

ノーマ　じゃあ、私は？

ワトソン刑事　孫がいる？（ノーマにひじ打ちされる【ＳＥ】ひじ打ちの音）

女性たち　（爆笑）キャハハハハハ！
フェイフェイ　ねえ刑事さん。この中で誰の秘密が知りたい？
ワトソン刑事　うーん、みんな知りたい！
女性たち　キャ――――――ッ！（大騒ぎ）

アポロ警部が女性楽屋の外に登場。ワトソン刑事に声をかける。

アポロ警部　おい。
ワトソン刑事　はっ。

M12B「新事実（BGM）」

女性楽屋の照明は消え、上手舞台前が明るくなる。警部と刑事は上手舞台前へ。

アポロ警部　いくつか新事実が分かった。まずジュリーを代役にキャスティングした謎のスポンサーがいることが分かった。それからマリオンの楽屋のトイレに残ったパイプの香りの謎。そっちは何か分かったか？
ワトソン刑事　はっ。まずアニーはパットを4枚入れて胸を大きく見せてます。それからベティの胸はシリコン。ナオミは整形。フェイフェイはすごいところにサカナの刺青を。
アポロ警部　・・・よくそこまで調べたな。
ワトソン刑事　はっ。
アポロ警部　さて。それではいよいよ、ジュリー・ハリスだ。

M12B終了。舞台中央が明るくなる。ジュリー、トニーとキャストたちが芝居の稽古をしている。演出中のマイルズ。MC。

ジュリー　（芝居のセリフ）「もうおしまいにしましょう。何もかも。私は明日、この町を出て行きます。二度と戻ることはありません。」
トニー　（芝居のセリフ）「もう一度チャンスがほしい。僕は心を入れ替えたんだ。」・・・ジュリー？
ジュリー　・・・ごめんなさい。刑事さんの姿が目にはいったので。
マイルズ　ああ困るなあ。稽古の邪魔は。
アポロ警部　すみません。ちょっとジュリーさんにお話をうかがいたいんですが。
マイルズ　あとにしてくれないかねえ。
ジュリー　いえ。・・・気になりますから先に。
アポロ警部　いいですか？　じゃちょっとだけ。
トニー　僕も一緒にいていいですか？

もちろん。

アポロ警部　仕方ない。休憩だ。

演出家のマイルズ退場。キャストたちは休憩する。アポロ警部はジュリーに近づく。

マイルズ　ジュリーさん。まず聞きたいのは、あなたの過去のことです。この間の話では、高校時代にボルチモアのアンバサダー劇場でマリオンの舞台を観て、この道を目指したと。

ジュリー　そうです。

アポロ警部　なんという舞台でしたか？

ジュリー　・・・ミュージカルでした。

アポロ警部　題名は？

ジュリー　・・・覚えてません。

アポロ警部　深く感動した舞台なのに覚えてない？　本当にアンバサダー劇場に行ったんですか？

トニー　それは失礼だろう！

ジュリー　行きました！　マリオンに感動して、自分もああなりたいと思ったことは覚えていますけど、題名や劇場のことは、なぜかあまり記憶に残っていないんです。

アポロ警部　当然ですよ。ボルチモアにアンバサダー劇場はないからです。

ジュリー　・・・ひっかけたのね。

アポロ警部　その通り。これはよくやる手でしてね。嘘につまった時にこっちから助け船を出せば、たいていは乗ってくるもんです。

ジュリー　何が聞きたいの？

アポロ警部　なぜ自分の過去を偽ったのかということです。（書類を出す）あなたが今回の舞台に出したプロフィール。ジュリー・ハリス。ニュー・イングランド出身。ボルチモアの芸術大学演劇科卒業。調べてもらいましたらね、そんな人は存在しないと言われました。このプロフィールに書いてあるあなたの経歴は、嘘なんです。そこで、あなたの名前と生年月日に合う人をアメリカ中からさがしましたらね、一人、それらしい人を発見しました。ジュリエット・ハリス。ニューメキシコ州サンタフェの孤児院出身です。5歳から15歳までこの孤児院で過ごし、その後行方不明になっています。その頃の知り合いの話では、何年かあとに、雑誌でヌード写真になっているのを何度か見たという。その人は今でもその雑誌持っていました。（雑誌を見せる）これがそうです。この最初の方のページに・・・。

アポロ警部はジュリーに近づき雑誌のページを開こうとする。ジュリーは素早く雑誌を奪い取る。音楽。

M13「ジュリーの経歴」

ジュリー　生きるためには、これ以上のことだって・・・やったわ

私は孤児院で育った
親の顔さえ忘れた
15でたまらず逃げ出した
売る物は身体ひとつ

坂道も　（女性コーラス）坂道も
泥道も　泥道も
くぐり抜け　越えてきた　ウ――ウ――

ある日一人の男が
凍えてた私に告げた
俺の言うことに従えば
有名な女優になれる

坂道も　（女性コーラス）坂道も
泥道も　泥道も
くぐり抜け　越えてきた　ウ――ウ――

私は男に隠れて
神様に祈ったの
私の願いが叶うならば
どんなことでも耐えるわ

坂道も　（女性コーラス）坂道も
泥道も　泥道も
くぐり抜け　越えてきた　ウ――ウ――

私の願いはただひとつ
別れた親と出会いたい
有名な女優になれたら
きっと親が見つかる

坂道も　（女性コーラス）坂道も
泥道も　泥道も

くぐり抜け　越えてきた

ウ――――――　ウ――――――

ウ――――――　ウ――――――

ウ――――――　ウ――――――

音楽M13終了。キャストたちは退場。照明ゆっくりと元に戻る。
モイラとイーサンが舞台奥に立ち、ジュリーを見ている。

ジュリー　（頬を押さえ、涙をため、夢うつつのように話す）私、マリオンを知っていたんです・・・（動悸が速くなる）いつから知っていたか覚えてませんが・・・知っていたんです・・・。（トニーが後ろから抱く）

アポロ警部　ひとつだけ聞かせてください。スティンゲル。M・A・スティンゲルという名前を御存知じゃありませんか？

ジュリー　・・・いいえ。

アポロ警部　今回の舞台のスポンサーです。その人が、あなたを指名してこの舞台に出演させたんです。

ジュリー　知りません。

アポロ警部　・・・ありがとう。

警部は雑誌を取り、刑事と共に退場。

トニー　ジュリー。さ、稽古を始めようか。

ジュリー　・・・トニー。

トニー　今の話を聞いても、僕は気にしないよ。

ジュリー　なぜ？　私は嘘だらけなのよ・・・。

【SE】ジュリーの耳の中、遠くで「銃声」が聞こえる。

ジュリー　（恐れる）あああっ！　私、時々、頭の中で、銃声が響くの。誰かを殺した、恐ろしい銃声・・・マリオンの顔。トニー・・・（泣きながら）私が、マリオンを殺したんじゃないかしら？

トニー　なんてことを言うんだ。

ジュリー　（動悸が早くなる。泣きながら）覚えてないの。でも、ずっと前から、こんなことになるんじゃないかって思ってた。銃声が聞こえると、私、必ずマリオンを思い出して・・・私じゃない？　私がマリオンを殺したんじゃない？（混乱）トニー。お願い・・・少し休ませてちょうだい。

トニー退場。モイラとイーサン、ジュリーの近くに寄る。

モイラ　・・・ジュリーさん。

ジュリー　・・・あなたは？

モイラ　マリオンの楽屋係だったモイラです。・・・マリオンを殺したのは、絶対あなたではありませんわ。私、知っているんです。

ジュリー　でも、私が一番疑われているのよ。私も、はっきり思い出せないけど、・・・私じゃないかって。（嗚咽。口を押さえる）

モイラ、ジュリーを背後から抱く。音楽。

M13A「ジュリーとモイラ、イーサン（BGM）」

モイラ　違いますわ。あなたではありません。子供の頃の恐ろしい記憶のせいで、そう思い込んでいるだけです。劇場の管理人室にいた彼が、犯人を見ていたんです。（ジュリー、ゆっくりイーサンを振り返る）彼、イーサン・エドワーズが。私だけに話してくれました。

イーサン　あなたがマリオンの楽屋から出たあと、実はもう一人、楽屋にはいった人物がいました。そいつがマリオンを殺したんです。だからあなたは、稽古を続けてください。

モイラ　この舞台の主役は、あなたなのです。

イーサン　そう・・・これは多くの人たちの願いなのです。多くの人たちの。

照明変化。奥が暗くなって舞台前に明かり。M13A終了して雑踏の【SE】。舞台前に読者たちにサインを求められるマリー・オブライエン。その奥のジュリー、モイラ、イーサンは退場。同時に舞台奥はマリー・オブライエンの事務所に転換。

読者1　（本を手に）オブライエン先生。サインしてください。

読者2　私も。お願いします！

読者3　こっちもサインしてください！

マリー　ああちょっと待って。今順番にするわ。どうもありがとう。

読者4　とても感動しました。頑張ってください。

マリー　ありがとう。

読者5　私も、女優になりたいんです。

マリー　そうなの？　頑張って。じゃあ、今日はこれまでね。皆さん、ありがとう。

読者6　ありがとうございました。（読者たち退場）

その様子を見ていたアポロ警部がマリーに近づく。

アポロ警部　いやあ。凄い人気ですねえ。ベストセラーだそうで。

マリー　（ひと目見てうんざり）警部さん。まだ私を疑っておいでなの？

とんでもない。私が知りたいのは真犯人の手がかりだけです。

アポロ警部　ではなんの御用？

マリー　どうやら肝心なのは、この本にも出て来る「リック・ハリスン事件」だとにらみましてね。その事件が、今回の事件を紐解く鍵だと思ってるんです。あなたが一番詳しいもんですから。

アポロ警部　分かりましたわ。事務所で話しましょう。どうぞ。

マリー　二人は奥へ。第一幕と同じマリー・オブライエンの事務所。

（助手に）コーヒーを二つ。（ソファーに座る）マリオンの楽屋にあったバカラのシャンペングラス。あれは私が持って行ったものですわ。仲直りの乾杯をするためです。でも毒は私じゃありません。

マリー　そうだと思います。検死の結果、マリオンは毒を飲んでないことが分かりました。誰かが毒を入れたが、飲む前にグラスは割られてしまったのです。死因は絞殺です。

アポロ警部　そう・・・。では聞きたいことをどうぞ。

マリー　（本をめくり）ずばり、「リック・ハリスン事件」です。あなたは現場の目撃者だった。（助手がコーヒーを持ってくる）

アポロ警部　ええ。当時私はリックの事務所で会計をしていて、事件が起きた時、隣の部屋にいました。銃声がしたので部屋にはいり、すぐに警察を呼びました。

マリー　犯人のリック・ハリスンについて知っていることを話してください。

アポロ警部　知ってるも何も、彼は南部で一番有名な芸能一家のリーダーでした。いい人でした。家族は三代続くショーの一座で、祖父はボードビルのスター。お父さんのエド・ハリスンも一流の軽業師（かるわざし）でした。

マリー　軽業師？

アポロ警部　空中ブランコとか、綱渡りとか。

マリー　身軽な人なんですね。

アポロ警部　ええ。高い場所が平気な人でした。当時の写真を持ってます。どうぞ。

（警部に写真を見せる）親族みんなが芸人でした。何十人もいましたわ。

マリー　（写真を見ながら）大勢だ。本部はサンタフェですか。

アポロ警部　ええ。ところが、父親の代からお客がはいらなくなって、息子のリックがプロデューサーになって、改革を行ったんです。マリオンを歌手として売り出し、ヒット曲が出て、お客がはいるようになったんです。リックはマリオンを主演にしたコンサートツアーを企画しました。成功すれば借金を返せると意気込んでいたんです。ところが、有名になったマリオンにハリウッドから映画の話が来た。

マリー　「らせん階段」。

アポロ警部　そう。マリオンは映画に出たがりました。スターになるチャンスですから。慌てたのはリックです。マリオンが降りたら計画は水の泡。莫大な

借金を背負ってしまいます。リックも必死でした。

M13B「回想（BGM／M13Aと同じ）」

音楽。薄暗い照明に変化。舞台前に若き日のマリオンとリック（MC役の俳優が演じる）が登場。

MC（リック） マリオン。映画を断って俺のコンサートに出てくれ！　お願いだ！

マリオン ダメよ。ハリウッドから呼ばれているの。

MC（リック） ほら。最高のネックレスをお前にやろう。（マリオンの首にかける）ショーが成功すれば、お前の好きなものを買ってやれるんだ。俺と一緒にやろう。

マリオン あんたには感謝してる。あんたが私を歌手にしてくれたおかげで映画の話が来たんだから。世界的な映画なのよ！　スターになれるの！　あんたのコンサートとはわけが違う。どうしても行かなけりゃ。

MC（リック） お前が降りたら、コンサートはみなキャンセルになる。俺は破滅だ。俺だけじゃない。一族みんながやっていけなくなるんだ！

マリオン ・・・ハリウッドに文句言って。

MC（リック） ・・・それなら、映画に出られないようにしてやろう。

M14「事件の夜」

リックはナイフを取り出し、逃げるマリオンの背中に突き立てる。

マリー リックは、ナイフを取り出してマリオンに突き刺したの！

マリオン （刺される）ア――――――ッ!!

倒れるマリオン。リックは大事な人を傷つけてしまったことを嘆き、ひざまずき、マリオンにしがみついて泣く。

MC（リック） （泣く）マリオン・・・俺の宝！　・・・俺は、もうダメだ！　犯罪者になってしまった！　一家の名折れだ！

マリー リックは引き出しから銃を取り出した！

MC（リック） （絶叫）マリオ――――――ン!!

拳銃で自分の心臓を撃つリック。自殺する。幼いリックの娘（ジュリエット）が奥から出て来て、父の自殺を目撃して立ちすくみ、落ちている拳銃を拾って持ち、眺める。

奥からリックの娘が出て来て、父親が自殺しているのを発見しました。
私も、慌てて駆けつけました。（立ち上がり、前の芝居に参加する）マリオン！（リックを見て）・・・死んでる！

マリー　バカよ
マリオン　こうなることは
分かっていたのに
恋はあわれなものね
すべてを滅ぼす

マリー　二度と恋などしない
マリオン　誓った女よ
マリー　ただお互いに利用しただけ

マリオン　救急車を呼んだわ
マリー　自分で撃ったの
マリオン　もうすぐ来るわ
マリー　私じゃない
マリオン　助からないわ
マリー　彼が悪いの
マリオン　何が起こったの？
マリー　もう私は
マリオン　二度と恋などしない
誓った女よ
ただお互いに利用しただけ
利用しただけ！

音楽高鳴り、短い暗転。M14終了。照明戻り、ソファーに座るマリーとアポロ警部だけになる。

アポロ警部　リックには幼い娘がいたんですね。娘の名前は？
マリー　ジュリエットでした。
アポロ警部　リックには奥さんがいた。
マリー　そうです。（写真を指さし）はしに写ってますわ。この人です。
アポロ警部　リックとマリオンは恋人同士ではなかったんですか？
マリー　最初は恋人でしたが、マリオンがあまりにも多くの男と関係を持つので、別の人と結婚しました。
アポロ警部　その人の名前は？
マリー　マーサ。・・・マーサ・スティンゲル。
アポロ警部　（立ち上がって）マーサ・・・スティンゲル！

マリー　ええ。

アポロ警部　ひとつだけひっかかることが。事件の夜、リックはマリオンに真珠のネックレスをプレゼントしていますねえ。マリオンのために新しく買ったものでしょうか？

マリー　買い物をするひまはなかったと思いますわ。彼のものだと思います。

アポロ警部　ありがとうございます。この写真、ちょっとお借りしていいですか？

マリー　どうぞ。

音楽ブリッジ。アポロ警部はマリーと別れ、舞台前へ。舞台奥の照明は暗くなり、マリー・オブライエンの事務所は片付けられる。

M14A「ネックレスの謎（BGM）」

アポロ警部　彼のネックレスをマリオンに渡した？　自分のものなのか？　いや。きっとそれは・・・。

M14A終了。ワトソン刑事登場。指を指して。

ワトソン刑事　ここがミュージカルのスポンサー、M・A・スティンゲルの家ですよ。驚きましたねえ。安アパートです。こんなところに住んでいる人が大金を出したなんて。

アポロ警部　一人じゃ無理だ。しかし大勢なら・・・家宅捜索の令状を取ってくれ。

ワトソン刑事　分かりました。

音楽。警部と刑事退場。舞台は女性楽屋に変わる。

M15「楽屋のうわさ」

ジュリーに主役の振りをつけるキャシー。

キャシー　（ジュリーに）では、やってないシーンの振付をするわ。ファイブ、シックス、セブン、エイト。・・・（カウントをとりながら踊ってみせる）じゃ、やってみて。・・・そう。もっとシャープに。・・・時間がないけど頑張って。じゃ、次いくわ。・・・歌を合わせましょ。

キャシーとジュリー退場。変わって女性楽屋のキャストたち。うわさ話に花が咲く。

アニー　**初日が開くのかしら**

テレサ　このミュージカルは？
キャストたち　多分ダメね　クビよみんな
失業保険で暮らすわ

パール　犯人は絶対この中の誰かよ
フェイフェイ　初日が開くはずがないわ
キャストたち　失業保険で暮らすわ

ノーマ　めそめそしなさんな
犯人以外は
大きくかまえてればいいの
私はこの道30年
初日に演出家が死んだこともある。だけどショーは続いたのよ。

ナオミ　それにしても犯人誰かしら？
ベティ　その人が逮捕されたら
キャストたち　失業保険で暮らすわ

ドナ　私多分　怪しいのは
ミリアム　あの人だと思うの
クラウディア　その名前は　イニシャルでＪ・Ｈ。
キャストたち　失業保険で暮らすわ
失業保険で　暮らすわ

Ｍ15終了。女性たち、がやがや。リンダが女性楽屋に登場。アニーとパールが目を見合わせる。

アニー　リンダ。
リンダ　なあに？
アニー　ちょっと話があんのよ。
リンダ　なによ？
アニー　こっち来て。（舞台前に連れ出す。照明変化。パールに）言って。

舞台奥はマリオンの楽屋に転換。

パール　（勇気をふりしぼって）マリオンの宝石盗ったの、あなたでしょ？
リンダ　知らないわよ。
アニー　うそ。知ってるのよ、私たち。
パール　あなた、異常に欲しがってたもん、あのダイヤ！
アニー　（声をひそめて）マリオンを殺したでしょ。

リンダ　ちがうわ。
アニー　出しなさいよ！
パール　盗った宝石！（ポケットに手をつっこむ）
リンダ　やめてよ！　やめて！
アニー　やれ――――っ！
パール　ギャ――――ッ！

リンダとアニーとパールの三人、取っ組み合いとなる。楽屋から女性たちが舞台前へ駆けつけてくる。

ノーマ　（金属の皿をカンカン叩いて）第1ラウンド終了！
テレサ　やめなさい！　三人とも！　何をしてるの！
アニー　この人なのよ。マリオンの宝石を盗ったのは！
パール　ダイヤドドボー（滑舌悪い）！
アニー　きっと殺したのも彼女よ！
フェイフェイ　えっ！
パール　シトゴロシー（滑舌悪い）！
リンダ　冗談じゃないわ。なんの証拠があってそんなこと言うの。私が宝石を盗ったって言うんなら証拠を見せて！　宝石はどこよ!?
パール　オヘソにはめてんのよー！（リンダのオヘソに襲いかかる）
テレサ　やめなさい！
アニー　やれ――――っ！
パール　ギャ――――ッ！

アポロ警部とワトソン刑事が通りかかり、騒ぎを止める。

アポロ警部　どうしたんです？
ノーマ　（金属の皿をカンカン叩いて）第2ラウンド終了！
リンダ　フン！　さがしてごらんよ。ダイヤのありかを。
パール　オヘソ――――ッ！
テレサ　やめて！

警部と刑事は、やっと両者を引き離す。

アポロ警部　・・・リンダさん。ちょっと協力してもらいたいんですが。マリオンの楽屋にはいった人をすべて見ていた人はあなただ。ずいぶんいろんなことが分かって来ましたんで、これからマリオンの楽屋で、当日の様子を再現したいんですが、付き合っていただけないでしょうか。
リンダ　ええ・・・いいですよ。

M16「推理」

女性たち退場。警部と刑事、リンダの三人はマリオンの楽屋へ。

では、あの日起こったことを、推理をもとに再現しよう。17日の午後6時前。最初に楽屋に帰って来たのはマリオン。

マリオン登場。怒って興奮している。

アポロ警部　彼女は怒っていた

アポロ警部　真珠もなくなった

アポロ警部　追いかけて来たのはスタッフ

バーンズ、マイルズ、アンソニー、キャシーの4人登場。

アポロ警部　楽屋係のモイラも

モイラ登場。

アポロ警部　劇作家は怒鳴る

アンソニー　いいかげんにしろ！

アポロ警部　わがままな女優だ！

マリオン　彼女は怒った

アポロ警部　思わず言い返す

キャシー　馬鹿な男ね

女房にコケにされて。

モイラ　キャシーは慌てた！

（心の声）浮気がバレたら私は終わりよ

アポロ警部　では買い物に行って来ます

モイラ　アリバイをつくるため出かけたのか？

アポロ警部　（心の声）確かなアリバイがあるわ

彼女がいなければ

マリオンは一人に

買い物に行ったのは

偶然ではなかった（マリオンの楽屋、暗くなる）

仕組まれたんだ！

ワトソン刑事　買って来た真珠のネックレスは新品でした。

彼女が買い物に行ったのは、人ばらいをするため。アリバイをつくるため。そして、もう一つの理由が！（マリオンの楽屋、明るくなる）

マリオンの楽屋にモイラが帰って来た時の再現。

（楽屋のドアを開ける動作）あぁっ！　どうしたのです！

モイラ。マリオンが殺された。

えぇっ！・・・・なんてことを！（驚き、泣き崩れる）

アポロ警部　彼女はドアを

モイラ　ノックしなかった！

バーンズ　ノックをせずに

モイラ　楽屋に入って来たんだ

アポロ警部　知っていたんだ！

マリオンが死んでいることを！

マリオンの楽屋暗くなり、マリオンが立ったら明るくなる。

アポロ警部　続いて来たのは帽子の女

あの夜　楽屋で起こったことは

マリー、笑顔で袋からシャンペンの瓶とグラスを二つ取り出す。次の会話の中で瓶の蓋を開け、グラスに注ぐ。

マリオン　何よ　このシャンペンは？

マリー　あなたが本の出版を認めてくれたお礼よ

マリオン　何を言ってるの？　認めてないわ！

マリー　命がけなのよ私も　莫大な借金を一人で

マリオン　知らないわ

マリー　助けてほしいの

マリオン　しつこいわ

マリー　本気よ

マリーは内ポケットから拳銃を取り出してマリオンに向ける。

マリオン　認めるわ

マリー　ありがとう友達ね

お祝いしましょう　シャンペンで

二人、シャンペングラスを掲げる。マリオンの楽屋暗くなり、マリ

ーはシャンペングラスをテーブルの上に残して退場。照明明るくなり、楽屋にアンソニー・ムーアが登場。

アポロ警部　**帽子の女が去ったあとに**
はいって来たのは劇作家
マリオンに呼ばれたのだ

アンソニーに打ち明けるマリオン。

アポロ警部　**奥さんの浮気を告げるマリオン**
劇作家はトイレに隠れ
件（くだん）の二人が現れる

ムーアはトイレに隠れる。キャシーとスタイガーが楽屋にはいる。

キャシー　**不倫の事実が明らかに**
なんでもするから
マリオン　**夫には内緒に**
彼は6年前に交通事故で
不能になったあわれな人
私たち夫婦は冷え切っていた

マリオン　**あなたは彼の財産が目的なのよ**
キャシー　二人で彼を殺すつもり!?
違うわ　信じてほしい
マリオン　**死ぬほど悩んだのよ**（泣く）
私と彼とは長い友達
彼をだましたら許さないわ
さっさと消えな！　二人とも！
二度とブロードウェイでは
スタイガー　**働けないと思って！**
そこまで言われたら　仕方がない。

スタイガー、服の中からヒモを取り出してマリオンに近づく。

マリオン　私を殺す気なの？　馬鹿な男！

マリオン、トイレのドアを開ける。ムーア登場。驚く二人。

アンソニー　すべてを聞いていたぞ！

アポロ警部　その時キャシーは、シャンペングラスに毒を入れたんだ！
マリオン　何をしたの、あなた！
キャシー　死ぬわー！（シャンペングラスで毒を飲もうとする）
スタイガー　やめるんだー！

照明変化（ピンク色に点滅）。演技はスローモーションに。

アポロ警部　**彼はグラスをつかんで**
投げつけた
キャシー　**これが割れたシャンペングラスと**
濡れていたマリオンの答えだ！
ああ――――――・・・！（号泣）

号泣するキャシー。楽屋の照明溶暗し、人物退場。M16終了。

ワトソン刑事　素晴らしい。
アポロ警部　だが、マリオンを殺したのは彼らじゃない。最後に楽屋にはいったのは
リンダ　代役のジュリー・ハリス。間違いありませんね？
間違いないわ。

マリオンの楽屋が明るくなる。マリオンとジュリーのみ。

マリオン　舞台を降りてちょうだい。
ジュリー　なぜです？（二人、ストップモーション）
アポロ警部　なぜ降りろと言ったのか？
ワトソン刑事　彼女の実力を恐れたんじゃないですか？
アポロ警部　いや。きっと知ったんだ。彼女が誰の娘かを。
ワトソン刑事　誰の娘？
アポロ警部　リック・ハリスン。昔彼女を襲って自殺したプロデューサーだ。
ワトソン刑事　うそー！　降りろと言われて首をしめたんですかね？
ジュリー　死ね――――っ！（マリオンの首をしめたところでストップ）
アポロ警部　ちょっと待て。二人の体格は？
ワトソン刑事　（二人に）並んでみて。（二人、並ぶ）おお！

マリオンの方がジュリーより圧倒的に大柄。

アポロ警部　ジュリーが首をしめても。
ジュリー　死ね――――っ！
マリオン　ト――――っ！（空手の一撃）
ジュリー　フギャ――――っ！（倒れる）

ワトソン刑事　後ろからしめたら？

ジュリー　死ね――――っ！

マリオン　ハッ！　ハッ！　ト――――――っ！（難なく投げ飛ばす）

ジュリー　フギャ――――っ！（倒れる）

ワトソン刑事　弱っ！

アポロ警部　それではやはり男の共犯者が存在する！

M16A「トニー登場（BGM）」

勇ましい音楽に乗ってトニーが登場する。M16A終了。

ジュリー　やって！

トニー　死ね――――っ！（マリオンに襲いかかる）

マリオン　グア――――ッ！

アポロ警部　いや。彼が楽屋にはいったところを、リンダは見ていない。

ワトソン刑事　でも、このトイレの窓から侵入出来る！

アポロ警部　そうだ。だが彼はステージ衣裳を着ていた。表は雨が降っており、外から侵入すれば衣裳はズブ濡れになってしまう。彼は男三人の楽屋にいた。誰にも気づかれず楽屋の窓から出はいりすることは不可能だ。

ワトソン刑事　（トニーとジュリーに）お疲れさん。

トニーとジュリー、退場。

アポロ警部　このあと楽屋にはいった人物が、マリオンに襲いかかったんだ！

M16B「真っ黒な人物（BGM）」

黒ずくめの人物登場。マリオンに襲いかかる。

マリオン　グア――――ッ！

倒れて死ぬマリオン。M16B終了。

ワトソン刑事　誰です？　この真っ黒な人物は！

アポロ警部　このあとマリオンの楽屋にはいった人物は、一人だけだ。

警部と刑事はリンダを見る。マリオンと黒ずくめの男は退場。

リンダ　私じゃない！　私が楽屋にはいった時にマリオンは死んでいたのよ！

アポロ警部　マリオンの宝石を盗んだのはあなたですね。

リンダ　違うわ！

アポロ警部　あなたは宝石泥棒の常習犯だ。マリオンが死んでいるのを見て、あなたは楽屋にかけてあった衣裳からダイヤをもぎとったんです。

リンダ　ハッハッハ！　たいした想像力ね、警部さん。どこに証拠があるの!?

アポロ警部　あなたの着ているガウンです。あなたは引きちぎったダイヤを、そのガウンのポケットに入れたはずだ。私にガウンを見せてください。

リンダ　このガウンのポケットに、その宝石がはいっていると思ってるの？　ハッハッハ！（ガウンを脱いで）馬鹿な人ね！　さあどうぞ！　見なさいよ！

アポロ警部はリンダのガウンを受け取り、ポケットを調べる。

アポロ警部　・・・いえ。宝石ははいっていません。しかしあなたは、宝石を引きちぎる時に、白い衣裳の羽根も一緒に引きちぎったんです。ひどく慌てていましたからね。

アポロ警部はポケットから白い羽根を一枚取り出してみせる。

M16C「白い羽根の衝撃（BGM）」

リンダ　！（ショックを受ける。M16C終了）

アポロ警部　窃盗容疑で逮捕します。

ワトソン刑事はリンダに手錠をかける。

リンダ　（泣きながら）信じて。マリオンを殺したのは私じゃないんです。

アポロ警部　泥棒の常習犯は人殺しなんてしません。そりゃあ別の人間だ。

アニー登場。

アニー　警部さん！　盗まれた宝石が見つかりました！　楽屋の冷蔵庫のアイスクリームの中でした！

アポロ警部　（マルクス刑事）連れていけ。

アポロ警部が一人舞台に残る。音楽。照明変化。

M17「これが真実」

アポロ警部　この事件の真実
一人の女優をめぐるミステリー
幾重にも重なった
謎の底から見えたものは
この事件の真実
恐ろしく悲しい男女の
執念と愛情が
作り出した物語だ

浮かんできた真実
もしあのアパートの住人が
その人なら間違いない
この私の推理に

愛する夫と娘を奪われ
人生をこわされた
哀れな女がいる

見えてきた真実
この事件の真相が
今分かった
悲しく誰にも言えぬ
秘められたドラマだ

この事件の真実
人は誰も闘う　愛のために

この街で生きるための
命かけた闘いの果てに
起こった悲劇だ

音楽、高鳴る。M・A・スティンゲルの安アパートの前。制服のニューヨーク市警官が二人登場。モイラが買い物袋を持って登場。アポロ警部を見てギョッとする。M17終了。

アポロ警部　モイラさん？　あなたの家を家宅捜索します。これが令状です。（警官に令状を渡し指示する。警官は退場）

モイラ　どうしてですか？

アポロ警部　あなたがマリオン殺しに関与していると分かったからなんです。本名はマーサ・アン・スティンゲルさん。このミュージカルのスポンサーで、

ジュリーの母親ですね。私がひっかかったのは、あなたが最初に楽屋にはいって来た時、ノックしなかったこと。つまり、マリオンが生きて楽屋の中にいると思ってなかったこと。そして、なくなったマリオンの真珠のネックレスです。あなたは事件当時、ネックレスを買いに隣の州まで出かけていた。完璧なアリバイです。私がおかしいと思ったのは、リンダが奪ったマリオンの衣裳に付いていたダイヤ。あれは大変高価なものだった。ところが、真珠のネックレスは安物です。どっちも同じ女優の私物なのに、そんなに差があることがおかしいと思いました。なくなったネックレスも、きっといいものに違いないと思ったんです。ではなぜそれが事件当日なくなって、あなたが代わりに安物を買って来たかです。答えは一つしかないんです。あなたが真珠のネックレスを取った。いえ。正確に言うと、奪い返した。夫のリック・ハリスンが、マリオンに与えた妻のネックレスをです。

警官登場し、家宅捜索で見つけた真珠のネックレスを警部に渡す。

アポロ警部　ありがとう。（真珠のネックレスを見せて）捨てていないと思いました。あなたにとって、大事なものだからです。

ワトソン刑事が、劇場管理人のイーサンを連行してくる。

アポロ警部　（イーサンに）マリオン・デイ殺害の容疑で、あなたを逮捕します。

イーサン　なぜ、私がやったと？

アポロ警部　雨だったからです。雨のなか、楽屋の窓から侵入すると、服がズブ濡れになります。濡れた服を誰にも見つからず、着替えられる人間でないと犯行は無理だ。ところが、楽屋を一人で使っていたのは、主演のマリオンだけ。ほかの人はみんな、複数で楽屋を使っていた。つまり、キャストの犯行ではないんです。だがもう一人だけ、一人で部屋を使っていた人物がいた。劇場管理人のあなたです。イーサン・エドワーズという名前にもひっかかりました。これは偽名じゃないかと。西部劇「捜索者」でジョン・ウェインが演じた主人公の名前だったからです。家族を殺され、復讐の鬼となる男の名前です。私は映画好きなので、ピーンときました。ではなぜ本名をかくす必要があったのか。あなたは私と話した時、マリオンの楽屋にはいった人をみんな見ていたといった。マリー・オブライエン。劇作家のムーアさん夫妻と舞台監督。そのあとにジュリーがはいっていたのに、あなたはジュリーのことだけ私に言わなかった。ジュリーをかばったんです。それであなたのこと調べました。あなたの本名はエド・ハリスン。亡くなったリック・ハリスンの父親。素晴らしい軽業師だったそうですね。雨の夜、三階の楽屋へビルの外を伝ってトイレの窓から侵入するとは、たいした芸当です。普通の人は怖くてできま

せんよ。高い舞台の上から私を狙ってモノを落とせるのも、身軽なあなただから出来たことだ。・・・ところが、この犯行は一人では成立しない。あなたが外を伝ってトイレの窓に到達した時、窓の鍵が開いていなくてはならなかった。誰が鍵を開けたのか。それが出来るのは、楽屋係のモイラさんだけです。二人が組んだ犯行だと分かりました。マリオンが原因で自殺したリック・ハリスンの妻と父親。破滅した芸能一家の復讐だったんだと。

モイラ　・・・いいえ。警部さん。夫は自殺したのではありません。

M17A「回想（BGM／M13Bリプライズ）」

音楽。薄暗い照明に変化。舞台前に若き日のマリオンとリック（MC役の俳優が演じる）が登場。

MC（リック）　マリオン。映画を断って俺のコンサートに出てくれ！　お願いだ！

マリオン　ダメよ。ハリウッドから呼ばれているの。

MC（リック）　ほら。最高のネックレスをお前にやろう。（マリオンの首にかける）ショーが成功すれば、お前の好きなものを買ってやれるんだ。俺と一緒にやろう。

マリオン　あんたには感謝してる。あなたが私を歌手にしてくれたおかげで映画の話が来たんだから。世界的な映画なのよ！　スターになれるの！　あんたのコンサートとはわけが違う。どうしても行かなけりゃ。

MC（リック）　お前が降りたら、コンサートはみなキャンセルになる。俺は破滅だ。俺だけじゃない。一族みんながやっていけなくなるんだ！

マリオン　・・・ハリウッドに文句言って。

MC（リック）　・・・それなら、映画に出られないようにしてやろう。

M17B「事件の夜」（BGM／M14リプライズ）

リックはナイフを取り出し、逃げるマリオンの背中に突き立てる。

マリオン　（刺される）ア――――――ッ!!（銃を取り出す）

拳銃でリックを撃つマリオン。倒れるリック。リックの幼い娘（ジュリエット）が奥から出て来て、父の死を目撃して立ちすくむ。マリオンは銃をジュリエットに手渡して、優しくささやく。

マリオン　・・・だめよ。銃なんかでいたずらしちゃ。分かったわね。

マリオン退場。M17B終了。照明はいったん暗くなり、元に戻る。

イーサン　自殺ではありません。マリオンに殺されたんです。

アポロはマリーから借りた写真を懐から出して二人に見せる。

アポロ警部　皆さんが若い時の写真を持っています。一流の芸能一家。みんな笑顔で幸せそうだ。家族を失った悲しみ、私にもよく分かります。・・・この舞台のスポンサーとして出した50万ドル。この写真に写った大勢の親族から集めたお金ですね？

イーサン　そこまで分かるとは、おみそれしました。

アポロ警部　一つ教えてください。ジュリー・ハリスという名前。本当はハリスンなのですか？

モイラ　ハリスンです。孤児院に連れて行かれる時、あの子は泣いていました。

アポロ警部　服に付けた名札の最後の二文字が、涙で消えてしまったのだと思います。

イーサン　ジュリーを主役にするために、マリオンを殺したのですか？

アポロ警部　もちろん、それも理由です。不幸なあの子のために、しなければならなかった。

思い違いですよ。ジュリーは、そんなことをしなくても、立派にこの街のスターになったことでしょう。それだけの実力がある子です。そこを、見抜いてほしかった。

泣き出すモイラ。モイラとイーサンは抱き合い、警部に頭を下げる。

M17C「退場音楽」（BGM）

ワトソン刑事はモイラとイーサンを連行して退場。最後にアポロ警部、万感の思いを胸に、退場。

M18「ブロードウェイ・バウンド／フィナーレ」

主演スターのジュリー・ハリスを中心としたミュージカルが、ブロードウェイの劇場で華やかに幕を開ける。

ジュリー　行こう

キャストたち　ブロードウェイ・バウンド

ジュリー　輝く

キャストたち　ブロードウェイ・バウンド

ジュリー　歌え

キャストたち　ブロードウェイ・バウンド
ジュリー　踊れ
キャストたち　ブロードウェイ・バウンド

ジュリー　たとえ何が起きようと
ショーの灯（ひ）は消えない
この国の希望を託し
未来へと続く

つらいことが起きようと
ショーの歌声は
悲しみを吹き飛ばして
世界へと響く

おいでよ　この街まで　（オブリガート）ア――
涙を拭いて　ア――
何かと出会うために　ア――
出会うために　ア――

キャストたち　ここでつかもうブロードウェイ
私の夢を
一度だけのチャンスを
ブロードウェイ・バウンド

ジュリー　これは友達のエスターに
本当に起こった出来事
アニー　コーラスガールのエスター
パール　褒められるのは高い声

ジュリー　ところが仕事は見つからず
ひたすらバイトの毎日
テレサ　ある日泥棒を見つけて
ベティ　大声上げた
ジュリー　キャー！

ノーマ　たちまち人が集まって
泥棒は御用に
ミリアム　次の日の新聞には
ミス大声　泥棒を逮捕！　（オブリガート）ア――
コーラス　ア――

ア――――――

ジュリー　エスターの大声は
キャストたち　一番有名な声
フェイフェイ　ついにブロードウェイのスターに！

ジュリー　おいでよ　この街まで　（オブリガート）ア――――――
涙を拭いて　ア――――――
何かと出会うために　ア――――――
何かをさがすために　ア――――――

キャストたち　ここでつかもうブロードウェイ
私の夢を
一度だけのチャンスを
ブロードウェイ・バウンド
ア――――――
ア――――――

センター、美しく輝くジュリー。緞帳ダウン。M18終了。

幕

M19「カーテンコール」

全員、観客の拍手に応えて挨拶。整列して大合唱。

キャストたち　ここでつかもうブロードウェイ
私の夢を
一度だけのチャンスを
ブロードウェイ・バウンド

音楽高鳴り、緞帳ダウン。

幕